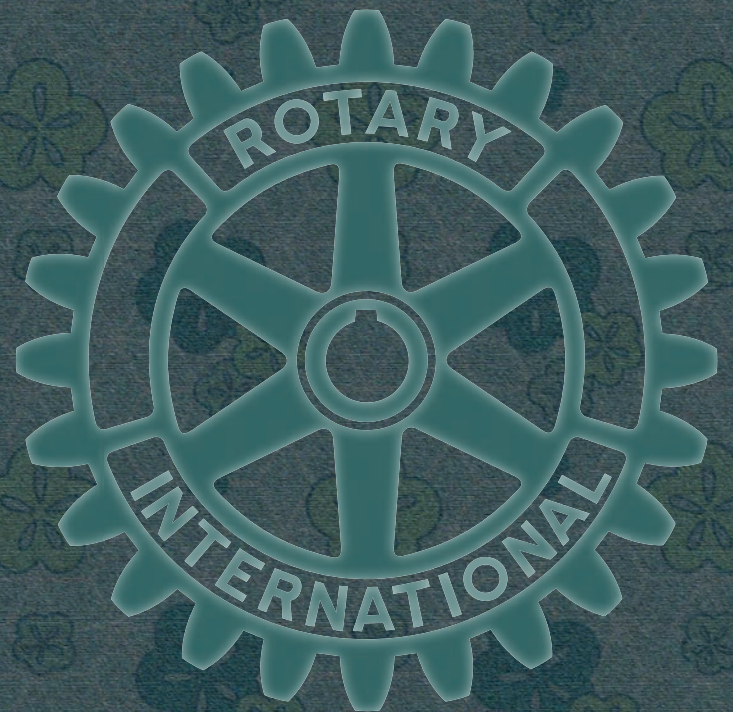


第Ⅲ部

クラブとしての RC 活動





東京江北ロータリークラブからの地区・分区への派遣会員一覧

年 度	役 職 名	会 員 名	年 度	役 職 名	会 員 名
1962～63	第358地区 第3分区代理	鈴木又右衛門		研究グループ交換小委員	橋 本 晋
1965～66	インターアクト諮問委員	鈴木一太郎		地区会計監査	大 盛 広 吉
1966～67	第4分区代理	池 田 和 夫	1984～85	青少年委員	今 井 保
1967～68	インターアクト諮問委員	鈴木一太郎		拡大委員会委員	磯 貝 俊 一
1968～69	インターアクト諮問委員	鈴木一太郎		地区会計監査	大 盛 広 吉
1969～70	地区会計長	池 田 和 夫		東分区代理	磯 貝 俊 一
	研究グループ交換委員	黒田市治郎		東分区幹事	服 部 義 雄
	ローターアクト委員	村 田 三 郎	1985～86	地区会計監査	大 盛 広 吉
	インターアクト委員	鈴木一太郎		クラブ奉仕委員	佐 藤 保 壽
1970～71	インターアクト委員	鈴木一太郎	1986～87	クラブ奉仕副委員長	井 上 信 彌
1971～72	地区資金委員	池 田 和 夫		地区会計監査	大 盛 広 吉
	職業分類委員	黒田市治郎		国際奉仕担当 PG	池 田 和 夫
	会報委員	濱 野 堅 照	1987～88	クラブ奉仕委員長	井 上 信 彌
1974～75	地区幹事	濱 野 堅 照		地区会計監査	大 盛 広 吉
	クラブ奉仕副委員長	黒田市治郎		米山奨学委員会担当 PG	池 田 和 夫
1975～76	拡大副委員長	濱 野 堅 照		米山奨学会理事	濱 野 堅 照
	クラブ奉仕委員	田 中 三 郎	1988～89	東分区代理	鈴木又右衛門
	青少年交換委員	安 斉 謹 一		東分区幹事	伊 集 院 實
	米山奨学事業推進委員	磯 貝 俊 一		国際奉仕委員	岡 村 貴 行
1976～77	遠隔地クラブ友愛委員	濱 野 堅 照		会計監査	大 盛 広 吉
	世界社会奉仕委員	安 斉 謹 一		職業奉仕担当 PG	池 田 和 夫
	米山奨学事業推進委員	磯 貝 俊 一		米山奨学会理事	濱 野 堅 照
	クラブ奉仕委員	田 中 三 郎	1989～90	インターアクト委員	佐 藤 徹
1978～79	第258地区 クラブ奉仕委員長	濱 野 堅 照		米山奨学委員	岡 田 尋 史
1979～80	米山奨学事業推進委員	岡 村 貴 行		会計監査	大 盛 広 吉
1980～81	ガバナー	池 田 和 夫		米山奨学会理事	濱 野 堅 照
	地区幹事	磯 貝 俊 一	1990～91	ローターアクト副委員長	飯 塚 悟 朗
	地区副幹事	矢 島 嘉 昌		インターアクト委員	佐 藤 徹
	東分区代理	濱 野 堅 照	1990～91	米山奨学委員	岡 田 尋 史
	米山奨学事業推進副委員長	岡 村 貴 行		会計監査	大 盛 広 吉
1981～82	地区幹事	矢 島 嘉 昌	1991～92	第2580地区 ローターアクト委員長	飯 塚 悟 朗
	米山奨学事業推進委員長	岡 村 貴 行		米山奨学委員	岡 田 尋 史
	ロータリー財団副委員長	安 斉 謹 一		米山奨学会理事	濱 野 堅 照
	クラブ奉仕委員長	磯 貝 俊 一	1992～93	ローターアクト委員長	飯 塚 悟 朗
1982～83	研究グループ交換小委員会委員長	橋 本 晋		米山奨学委員長	井 上 信 彌
	地区会計監査	大 盛 広 吉		米山奨学会理事	濱 野 堅 照
	拡大委員会副委員長	矢 島 嘉 昌		ロータリー財団委員	山 本 嘉 雄
1983～84	職業奉仕委員長	矢 島 嘉 昌	1993～94	ローターアクト委員	飯 塚 悟 朗
	ロータリー財団委員長	安 斉 謹 一		インターアクト委員	吉 田 清 高



年 度	役 職 名	会 員 名
1994～95	ロータリー財団委員	山 本 嘉 雄
	会計監査	大 盛 広 吉
	米山奨学会常務理事	濱 野 堅 照
	世界社会奉仕副委員長	飯 塚 悟 朗
	米山奨学委員	山 佐 福 栄
1995～96	インターアクト委員	吉 田 清 高
	会計監査	大 盛 広 吉
	米山奨学会常務理事	濱 野 堅 照
	世界社会奉仕委員長	飯 塚 悟 朗
	米山奨学委員	山 佐 福 栄
1996～97	インターアクト委員	吉 田 清 高
	会計監査	大 盛 広 吉
	米山奨学会常務理事	濱 野 堅 照
	世界社会奉仕委員長	飯 塚 悟 朗
	米山奨学副委員長	山 佐 福 栄
1997～98	インターアクト委員	石 鍋 元 章
	国際奉仕委員	佐 藤 徹
	米山奨学会常務理事	濱 野 堅 照
	米山奨学委員長	山 佐 福 栄
	米山奨学委員	鈴 木 喬
1998～99	世界社会奉仕委員	飯 塚 悟 朗
	インターアクト委員	飯 塚 悟 朗
	米山奨学会常務理事	福 本 勝 由
	世界社会奉仕委員長	飯 塚 悟 朗
	クラブ奉仕副委員長	飯 塚 悟 朗
1999～2000	インターアクト委員	福 本 勝 由
	米山奨学委員	山 佐 福 栄
	米山奨学委員	鈴 木 喬
	米山奨学会常務理事	濱 野 堅 照
	東分区ガバナー補佐	伊 集 院 實
2000～01	東分区幹事	鈴 木 喬
	クラブ奉仕副委員長	飯 塚 悟 朗
	インターアクト委員	福 本 勝 由
	ロータリー財団委員	鈴 木 敏 男
	米山奨学委員	山 佐 福 栄

年 度	役 職 名	会 員 名
2001～02	拡大増強委員	伊 集 院 實
	インターアクト委員	福 本 勝 由
	米山奨学委員長	鈴 木 喬
	米山奨学会常務理事	濱 野 堅 照
	クラブ奉仕委員長	飯 塚 悟 朗
2002～03	インターアクト副委員長	吉 田 清 高
	ロータリー財団委員長	鈴 木 敏 男
	米山奨学委員	鈴 木 喬
	米山奨学会常務理事	濱 野 堅 照
	職業奉仕委員長	石 鍋 元 章
2003～04	インターアクト副委員長	原 田 寛
	インターアクト委員	吉 田 清 高
	クラブ奉仕副委員長	飯 塚 悟 朗
	ロータリー財団副委員長	鈴 木 敏 男
	世界社会奉仕委員	海老沼孝二
2004～05	職業奉仕委員	石 鍋 元 章
	インターアクト委員	小 出 康 夫
	米山奨学委員	海老沼孝二
	米山奨学委員	海老沼孝二
	インターアクト委員	濱 中 厚 生
2005～06	インターアクト委員	濱 中 厚 生
	米山奨学委員	海老沼孝二
	インターアクト委員	濱 中 厚 生
	米山奨学委員	海老沼孝二
	インターアクト委員	樽 澤 忠 正
2006～07	国際奉仕委員長	高橋祐太郎
	米山奨学委員	伊 藤 隆
	職業奉仕室長	石 鍋 元 章
	職業奉仕室幹事	原 田 寛
	国際奉仕室員	小 出 康 夫
2007～08	青少年交換委員	飯 塚 悟 朗
	米山奨学副委員長	伊 藤 隆
	研修委員	石 鍋 元 章
	ロータリー情報委員	海老沼孝二
	インターアクト委員	坂 田 修 一
2008～09	拡大増強委員	鈴 木 喬
	青少年交換副委員長	飯 塚 悟 朗
	米山奨学委員長	伊 藤 隆
	危機管理委員	伊 藤 隆
2009～10		



東京江北ロータリークラブ輩出のガバナー、分区代理・ガバナー補佐一覧

元ガバナー

池田 和夫

1989年3月9日逝去（83歳）

1960年3月17日入会

PHF、米山功労者、チャーターメンバー

事業所名 スタンダード靴株式会社

職業分類 靴製造

1963－1964 クラブ会長

1996－1967 第358地区第4分区代理

1980－1981 第258地区ガバナー

元分区代理

鈴木 又右衛門（先代）

1972年11月26日逝去（79歳）

1960年3月17日入会

チャーターメンバー

事業所名 大成倉庫株式会社

職業分類 倉庫業

1961－1962 クラブ会長

1962－1963 第358地区第3分区代理

元分区代理

姫川 親一

1979年5月12日逝去（64歳）

1964年2月20日入会

チャーターメンバー

事業所名 株式会社桐栄

職業分類 アルミ加工販売

1970－1971 クラブ会長

1972－1973 第358地区第4分区代理

元分区代理

鈴木 又右衛門（鈴木 一太郎）

名誉会員／1960年3月17日入会（創立会員）

PHF、米山功労者、チャーターメンバー

事業所名 大成倉庫株式会社

職業分類 倉庫業

1975－1976 クラブ会長

1988－1989 第258地区東分区代理

元分区代理

濱野 堅照

2004年11月18日逝去（78歳）

1962年6月28日入会

PHF、米山功労者、クラブ基金功労者

事業所名 西新井大師總持寺

職業分類 仏教

1977－1978 クラブ会長

1980－1981 第258地区東分区代理

元分区代理

磯貝 俊一

現会員／1968年10月17日入会

PHF、米山功労者、米山特別功労法人、クラブ基金功労者、ベネファクター

事業所名 (生)東京千住青果株式会社

職業分類 蔬菜卸売

1978－1979 クラブ会長

1984－1985 第258地区東分区代理

元ガバナー補佐

伊集院 實

2003年7月4日逝去（71歳）

1975年11月13日入会

PHF、米山功労者

事業所名 伊集院實法律事務所

職業分類 弁護士

1991－1992 クラブ会長

1999－2000 第2580地区東分区ガバナー補佐

元ガバナー補佐

鈴木 喬

現会員／1989年7月20日入会

PHF、米山功労者、クラブ基金功労者

事業所名 株式会社鈴木商事

職業分類 不動産業

2003－2004 クラブ会長

2008－2009 第2580地区東分区ガバナー補佐



想

ガバナー就任に当って

国際ロータリー第 258 地区

1980 ～ 1981 年度

ガバナー 池田 和夫

ロータリーも 7 月で新しい年度を迎えることになり、これにつれて私もガバナーに就任することになりました。

地区の会長、幹事、分区代理、地区委員の方々にまず宜しく御協力の程をお願い申し上げます。そして共々に手を携えて 1980 ～ 81 年をロータリーの躍進の年にしたいものと念願致しております。

御承知の如く、本年度から従来の第 258 地区は二分されることになりました。名称こそ同じ第 258 地区でございますが、その様相は変わっております。従ってその組織の運営の面に於いても自ら異なり、前年度と引継ぎ同じ形で運営することはできません。本年度は本年度にふさわしい形をとらねばならぬと考えております。運営面は勿論、事業面に於いても、予算上から当然半減せられることを基準に考えなければなりません。同じ事業面に於いても第 275 地区と相提携して実施するということは、将来その実施面に於いて種々不都合が生じることも考えて、お互いに独自の施策をとる要があると考えます。本年度は継続事業として既に決定しております事業は共同

で実施致しますが、これも本年度限りと致したい所存でございます。

私は諸条件を勘案して、まず第一に組織の簡素化を企画致しまして、その実施に当たりました。第二はロータリークラブの実質的な自治であります。個々のロータリークラブの自主的運営がロータリーの原則であり、これこそロータリー発展の基盤をなすものと考えております。

私は国際ロータリーの一員となったが故に、命令がましいことを申したり、クラブの運営に干渉するようなことは絶対に致しません。よき相談相手となり、種々の情報を提供することが私の任務と考えております。未熟な理論をあげつらって、自己陶醉に陥るようなことは厳に慎まなければならぬ、と考えております。

私は、私のロータリー観の重点を「親睦」と「社会奉仕」におきたいと考えております。共に古くて新しい目標と考えております。これがロータリー奉仕活動の原点ではないでしょうか。経験豊かな皆様に何かと御教示に与りたいと思いますし、お互い膝を交えての楽しい語らいの時を持ちたいものと念願致しております。

さて、本年度 RI 会長ロルフ・J・クラリッヒ氏のターゲットは「時間を捧げよう奉仕のために」であります。これについての会長のお話や私見は次号に譲り、ただ粗辞をつらねて、地区のロータリアンにガバナー就任の挨拶を送る次第でございます。



想

※ 故池田和夫君は、我が東京江北ロータリークラブから輩出したガバナーであり、その就任に際する地区クラブの会長・幹事に対する上記のご挨拶は、今後の当クラブ会員に対するメッセージともなりますので、ここに掲載することになりました。

池田和夫パストガバナーを偲ぶ

磯貝 俊一

池田さんは、従来の第 258 地区が 1980 年 7 月から第 258 地区と第 275 地区に分割されたときの最初のガバナーをつとめられた。

そしてこの分割を機会に思い切った地区組織の簡素化を断行された。一例として、地区副幹事は 1 名、分区幹事は廃止、地区委員は 1 委員会原則として 5 名とし、青少年関係の予算も大幅に圧縮した。池田さんは本来「事大主義を排し、権威に盲従せず」という信念の持主で、こういうことについては他人の思惑など考慮しない方である。地区委員については分区が 6 つあるので、5 名では何かと人選がやりにくい。地区幹事の私のところへも随分苦情が持ち込まれたので、再考をお願いしたが断固として譲らなかった。反面こまかいことには一切口出しせず、「よきにはからえ」ということで全部委せられた。「士は以

て弘毅ならざるべからず」という曾子のことばのように、真のサムライであった。またいわゆる社交的なことには全く無頓着な方で、私など小市民的常識の尺度では計り切れない側面をもっておられた。そのため一部には孤高の人の如き印象を与えたかも知れないが、心底は温情に溢れ、またロータリーをこよなく愛された方であった。

パストガバナーとなられて直後、体調を崩され、一時回復したものの、その後白内障手術のため、血糖を下げるべく入院加療された頃から脚力が衰え、最近ではクラブ例会にお見えになることも稀になっていた。そのようなことで家の回りの散策もままならず、ご自宅ではもっぱらお好きな読書三昧の日を送られていたが、去る 3 月 9 日未明、就寝中に眠るが如く大往生を遂げられたという。死因は心不全。かつて満州の曠野に青春のロマンを追い求めた好漢の、それは静かな死であった。



想

濱野堅照元分区代理の想い出

佐藤 保壽

1975年の晩秋、濱野さんより「お訪ねしたいので都合の良い日時を教えてください」との電話を頂いた。「御足労頂くのは恐縮ですので私からお伺い致します」と申し上げたが「お願い事なので私からお伺いするのが筋です」と固辞され止む無く、お待ちする事にした（相手が誰であれ、頼み事の場合、当方から訪ねるのが礼であるとの教えを学ばせて頂いた）。

約束の日時にお越し頂いた濱野さんより「此の度、次期副会長を引き受ける事になったが、ついては貴方に副幹事をお願いしたい」とのお話。その前年度、愚兄が地区ガバナー就任時、地区幹事としてお助け頂き、又、大先輩の濱野さんが若輩の私の会社までお訪ねいただいていたお話でもあり自信の無いままにも引き受けざるを得なかった。

濱野さんが会長就任後、留意されたのがクラブ財政の在りかたであった。1974年地区年次大会ホストとして版權を得た「ようこそロータリー」の出版を基にクラブ基金の充実を計られた。そして、ニコニコ Box は本会計と切り離し別会計とし、社会奉仕活動の資金とするよう指示された。

濱野さんは、ロータリー米山記念奨学会理事そして常務理事として永年活動された。我がクラブの米山記念事業に対する寄付額が全国でも常に上位を占める様になったのも濱野さんのお力で多くの会員の協力を得たものと想われる。

濱野さんには、地区ガバナー就任の要請が幾度かあったがその都度、固く御辞退されたと承った。この事は濱野さんが表立つ事を好まれず、常に裏方として努められる謙虚なお人柄故であろう。

諺に曰く「桃李言わざれども下自から蹊をなす」

正に、濱野さんの御人柄を表す言葉では、なかろうか。



想

伊集院實ガバナー補佐を偲ぶ

鈴木 喬

第 2580 地区では 1999 ～ 2000 年度、RI の組織変革に基き分区代理に代わりガバナー補佐制を採用致しました。その初代に就任されたのが故伊集院實氏（以下先生とお呼びします）で、分区代理時代から数えて弊クラブ 6 代目にあたり、私が分区幹事として実質 1 年半に亙り秘書役を務めました。

コンビで活動を始めて半年余り、正式就任の 10 日程前に突然ガバナーエレクト A 氏が事業の都合から辞任する緊急事態に陥りました。結果、1997 ～ 1998 年度阿部孝ガバナーの再登板という異例の進行となりました。特異な点は、阿部 G の方針でガバナー公式訪問をガバナー補佐が代行することになったことです。

ガバナー補佐の諸任務のなかに分区 15 クラブの年 4 回訪問がありますが、先生は職業分類・弁護士というお人柄の通り全て緻密に実行されました。前述の公式訪問代行は大変苛酷なことですが、先生は、「鈴木君、それも巡り合わせで体験できることを感謝しよう」とおっしゃり、それこそ黙々と任務を全うされました。

先生は鹿児島県で出生し、裁判官であられ

たご尊父の転勤により北海道立旭川高校から早稲田大学法学部で学ばれ、父君と同じ法曹界に弁護士として籍をおかれた訳です。

東京江北ロータリークラブに 1975 年に鈴木又右衛門名誉会員をスポンサーとして入会され、1988 ～ 1989 年度鈴木（又）分区代理年度に分区幹事、1991 ～ 1992 年度クラブ会長そしてガバナー補佐を務められた文字どおりクラブのみならず人生のリーダーであられました。

私が推薦入会した原田寛会員がイニシエーションスピーチで卒業高校に触れたとき、「エッ、僕の後輩だよ」と嬉しそうに言われた顔を懐かしく思い出します。

先生はまた、知る人ぞ知る鉄道マニアでありました。父君の転勤で各地を移動したことが切っ掛けで、全国の駅を津々浦々尋ねたようであります。いま流行りの“乗り鉄”のパイオニアでした。

薩摩隼人の血筋を伺わせる豪放磊落な酒豪でもありました。後に「みのり会」を結成する 15 クラブ会長幹事会、地区役員会などあらゆる会合で楽しいお酒を召し上がられました。秘書の私が下戸に等しいことに理解を示され、鈴木の方も飲んで下さいました。

ガバナー補佐時代からロータリーの何たるかを多々教えて頂きましたが、果たして伊集院教授に師事するに足る良き教え子だったか



忸怩たるものがあります。

私がクラブ会長に就任して4日目、2003年7月4日急逝されました。余りにも突然のことで呆然と致しました。享年72歳でした。

2003年8月27日、令夫人のたってのご要望で精養軒にて「お別れ会」を催し、先生の徳を偲びクラブ内外多数のロータリアンがお別れ申し上げました。それが秘書として私の最後の奉公となりました。

最後に、東京江北ロータリークラブ全会員とともに、卓話などで示す巧まざるユーモア、謙虚で物静かな文化人でもあらせられた先生に対し今日クラブ50周年を迎えられたことを報告しつつ、感謝と共に御魂の安寧を衷心より祈念申し上げます。



ガバナー補佐回顧

鈴木 喬

※沿革

「ガバナー補佐」は、地区レベルでのロータリー諸活動の任務を遂行し、また担当するクラブ（東分区 15 クラブ）の管理運営に関してガバナーを補佐する責任を負うためにガバナーから任命される役職です。

従前は「分区代理」といい、ガバナー代理として活動する重職でした。当クラブでは、故池田和夫氏（1966 ～ 1967 年度、1980 ～ 1981 年度ガバナー就任）・故姫川親一氏（1972 ～ 1973 年度）・故濱野堅照氏（1980 ～ 1981 年度）・磯貝俊一会員（1984 ～ 1985 年度）・鈴木又右衛門名誉会員（1988 ～ 1989 年度）の 5 名の方々を輩出しております。

RI の組織変更に基づき DLP が採用されたことから、第 2580 地区でも「分区代理」が「ガバナー補佐」になり、東分区最初のガバナー補佐として故伊集院實氏（1999 ～ 2000 年度）が就任され、私が分区幹事として秘書役を務めました。

※七代目

私は、2008 ～ 2009 年度のガバナー補佐を仰せつかった訳ですが、クラブ歴代 7 人目ということになります。全会員の暖かい御支援を頂いたおかげで任務を全うすることができました。

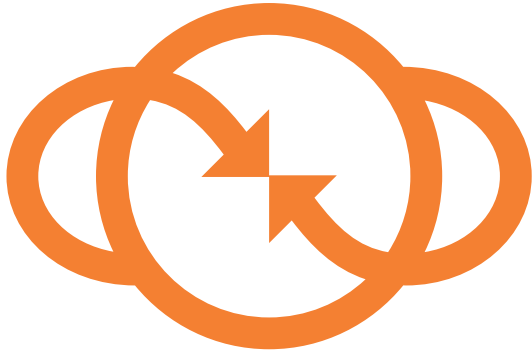
任務の根幹はガバナー及び地区と 15 クラブとの緊密な情報を伝達し、15 クラブへのアドバイザー役になることでありますが、幸い緻密な坂田修一会員に分区幹事をお願い

し、良きガバナー・良き会長幹事連・良きガバナー補佐仲間に恵まれました。

ここに一年間の活動の一端を記しておきます。

- ① 15 クラブを 4 回ずつ訪問し、クラブ協議会・アッセンブリーに参加し、卓話を行いました。
- ② インターシティ・ミーティング（IM）を主催し、東分区会員 400 名の出席の下にセミナーを開催致しました。IM 直前に師事する佐藤千壽 PG の急逝でプログラム変更を余儀なくされたことは、忘れられぬ出来事です。
- ③ 分区懇親ゴルフ大会を主催し、189 名の参加を頂きました。

その他諸々のロータリー行事に携わりました事、そして恙無く務められました事、その全てが東京江北ロータリークラブ 50 年に亘る伝統として息づく“人の和”の結晶であると自認いたしております。



東京江北ロータリークラブにおける 米山奨学事業への寄与

米山奨学委員会

1. 概略

米山奨学会は、正式名称を財団法人ロータリー米山記念奨学会とし、勉学、研究を志して日本に在籍している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として奨学金を支給し支援する奨学団体である。

この米山記念奨学会の歴史は、日本に初めてロータリーを設立した米山梅吉翁の功績を記念して1953年に発足し、その後、1967年に財団法人ロータリー米山記念奨学会として設立されたもので、現在では民間として日本最大の奨学金制度となっている。

現駐日韓国大使の権哲賢氏も米山学友の一人である。

因みに、今までに15130人の留学生を支援し、2010年度の奨学生は826人で、その国籍・地域別では中国が402人、韓国が116人、台湾が51人、その他が257人であり、奨学金種類別では修士課程が最も多く374人、博士課程が215人、学部課程が203人、その他に地区奨励奨学生、クラブ支援奨学生等がいる。尚、2009学年度で博士号を取得した奨学生・学友は48人、2010年4月9日現在での累計では3196人に達する。

我がクラブでは、米山奨学資金の拠出をはじめ、世話クラブとして米山奨学生の受け入

れ、奨学生の個人的ケアを務めるカウンセラーとしての会員の就任等のみならず、奨学会更には地区奨学委員会等の役員・委員として当クラブ会員が積極的に関与している。

特に、米山奨学生との間に育まれた交流は、国際理解と世界平和に繋がると確信している。

2. 当クラブにおける米山記念奨学会への寄付活動

米山記念奨学会については、当クラブでは古くから支援・協力を行っており、特に1983年の岡村貴行会長年度頃は巨額の寄付が為され、2000年初頭頃は、当クラブからの寄付総額が1億円を超え、日本全国のロータリークラブの中で京都南RCに次ぐ第2位となる。

その後、大分状況が変わり、名古屋東RCにおいて一人で1億円を寄付した会員が出て、現在では、当国際ロータリー2580地区では東京に続いて2位、全国では8位と順位は下がっているが、米山奨学生への支援は当クラブの50周年記念に伴う多額の寄付等により、又その評判をとり戻しつつある。

特に、50周年記念の年に当たり当クラブ米山奨学委員会も、その記念として、偶々地区米山奨学委員長である当クラブの伊藤隆君と連名で会員の皆様に寄付をお願いし、当クラブからは100万円、下記クラブ会員10名からは米山功労者及び準米山特別功労法人として協力頂いた。

※米山功労者寄付：石鍋元章・小林光夫・芝久雄・田中清介・谷中義雄・吉田正行・鈴木喬・伊藤隆・庄司孝輝 9君

※準米山功労法人：七陽商事株式会社（取締役会長 鈴木敏男）

（記…鈴木敏男クラブ米山奨学委員長）



東京江北ロータリークラブにおける米山奨学生の受け入れ

	氏 名	性別	国 籍	大 学 名	奨 学 期 間	カ ウ ン セ ラ ー
1	王月霞	女	台湾	筑波大学	1964.04 ~ 1964.09	
2	黄世佑	男	台湾	東京大学	1964.04 ~ 1967.09	
3	郭仁波	男	台湾	東京大学	1965.04 ~ 1967.10	
4	顔明宏 (帰化後氏名: 嘉門 明宏)	男	台湾	明治大学	1968.04 ~ 1969.03	
5	安熙道 (アンヒドゥ)	男	韓国	東京大学	1977.04 ~ 1979.03	橋本 晋
6	グエン・クアン・ジュク	男	ベトナム	大正大学	1979.04 ~ 1983.03	濱野 堅照
7	劉瓊芳	女	台湾	東京医科歯科大学	1981.04 ~ 1984.03	岡村 貴行
8	コヴァリク・ユッタ	女	ドイツ	国際基督教大学	1982.04 ~ 1983.09	鈴木 敏男, 岡村 貴行
9	丁潤夏	男	韓国	東京大学	1984.04 ~ 1985.09	木村 九衛, 鈴木 徳太郎
10	權在淑 (クオンチェスク)	女	韓国	東京都立大学	1984.04 ~ 1987.03	島崎 雄司, 岡村 貴行
11	李塚昂 (リチュウ)	男	韓国	東京工業大学	1986.04 ~ 1987.03 /1995.12 ~ 1996.02	岡村 温二, 山下 淳市
12	朴英秀 (パクヨンシュウ)	男	韓国	東京商船大学	1987.04 ~ 1987.09	島崎 雄司, 荻原 智紀
13	孔義植 (コンウイシク)	男	韓国	日本大学	1987.04 ~ 1989.03	岡村 温二, 石渡 守治
14	黄家善 (ファンチャサン)	男	台湾	東京商船大学	1988.04 ~ 1990.03	荒木 幸雄
15	劉京陽 (リュウジンヤン)	男	中国	東京芸術大学	1989.04 ~ 1990.03	岡村 温二, 濱野 堅照
16	クリシナン・ディパ	女	インド	東京大学	1990.04 ~ 1991.03	竹内 栄一
17	安惠慶 (アンヘギョン)	女	韓国	お茶の水女子大学	1990.04 ~ 1992.03	島崎 雄司
18	鄧錦雲 (テンキンイン)	男	マレーシア	早稲田大学	1991.04 ~ 1993.03	鈴木 喬
19	陳 錦 (チェンジン)	女	中国	お茶の水女子大学	1992.04 ~ 1994.03	篠田 照雄
20	施智強 (スツチャン)	男	台湾	日本大学	1993.04 ~ 1995.03	矢島 寛
21	權浩政 (コンホジョン)	男	韓国	東京大学	1994.04 ~ 1995.03	荻原 芳樹
22	李昶雨 (イチャンウ)	男	韓国	東京大学	1996.04 ~ 1998.03	高橋 祐太郎
23	曹圭亨 (チョキュヒョン)	男	韓国	東京大学	1997.04 ~ 2000.03	高橋 祐太郎
24	延濟梧 (ヨンゼオ)	男	韓国	東京大学	1998.04 ~ 2001.03	濱中 厚生
25	馮東東 (フェンドンドン)	女	中国	東京大学	1999.04 ~ 2000.09	山佐 福栄
26	ハン・ガイク・ティオン	男	マレーシア	東京大学	2000.04 ~ 2001.03	伊藤 隆
27	李時旭 (イシウク)	男	韓国	東京大学	2000.04 ~ 2001.09	市毛 英明
28	成昭恩 (ソンソウン)	女	韓国	東京大学	2001.04 ~ 2002.03	原田 寛
29	曾曉鳴 (ソウショウメイ)	女	中国	東京商船大学	2001.04 ~ 2001.09	坂田 修一
30	蔡今錫 (チェクムンスオク)	女	韓国	学習院女子大学	2001.07 ~ 2002.06	佐藤 徹
31	金在昀 (キムチェグ)	男	韓国	東京大学	2002.04 ~ 2004.03	海老沼 孝二
32	汪双鳳 (オウソウホウ)	女	中国	東京大学	2002.04 ~ 2003.03	戸塚 誠一郎
33	塔依尔 阿不都哈德尔 (タイル・アブトハドル)	男	中国	日本医科大学	2003.04 ~ 2004.09	伊藤 隆
34	裴晋影 (ベジンヨン)	女	韓国	日本女子大学	2003.04 ~ 2004.03	高橋 祐太郎
35	李東輝 (リトンフイ)	女	中国	東京大学	2004.04 ~ 2006.03	小出 康夫
36	付立華 (フリッカ)	女	中国	お茶の水女子大学	2006.04 ~ 2007.03	伊藤 隆
37	アメッド・イーサン・マハディー	男	エチオピア	早稲田大学	2007.04 ~ 2008.09	谷中 義雄
38	朴英美 (パクヨンミ)	女	韓国	お茶の水女子大学	2008.04 ~ 2011.03	佐藤 徹
39	朴貞玉 (パクチョンオク)	女	韓国	お茶の水女子大学	2009.04 ~ 2011.03	守屋 裕之



Congratulations!

元米山奨学生 (1977.4~1979.3)

安 熙道 (韓国)

韓国海洋研究院 名誉研究委員

この度、東京江北ロータリークラブが創立50周年を迎えましたことを、心よりお祝い申し上げます。元米山奨学生の私がその50周年特別記念誌『50年史』に寄稿する機会をいただき、大変光栄に存じます。

私は1977年4月から1979年3月までの2年間、米山奨学金をいただきました。当時は東京大学大学院土木工学科修士課程に在学しておりました。

1979年、留学生生活を終え韓国政府傘下研究所である韓国海洋研究所に入所し、昨年の2009年に定年を迎えるまでちょうど30年間同所に勤めておりました。米山奨学金を受けて以来、33年という歳月が経ちました。

私は帰国後もいつもロータリー精神を忘れずに、何かと奉仕の機会を捜し、2001年から今年の2010年までの10年間、韓国米山学友会の会長を担当しており、New-Seoulロータリークラブの会員でもあります。これまでの韓国の留学生のうち、米山奨学金の受恵者は約3200人程度で、現在産学研の様々な分野で活躍しており、皆が米山奨学金の温情を忘れておりません。

私の米山奨学生時代を思いおこすと、まずは東京江北ロータリークラブの歴代会長の方々をはじめ、カウンセラーだった亡き橋本晋先生のことには忘れることができません。私は留学中の1977年8月に結婚し、3ヶ月後の11月初めに妻が日本に渡って新婚生活を始めるようになりましたが、毎年のお正月には自宅に招いていただき(1泊)、文化行事(生け花や餅つき)、そして夏休みの旅行(伊勢湾鳥羽)、8月の花火大会(隅田川)、4月の牡丹祭り(西新井大師)

等々、数え切れないほどの文化行事にご招待いただき、新婚生活を楽しく過ごすことができました。特に妻が日本に来て初めてロータリー例会に参加したときの、東京江北ロータリークラブ会員が送ってくださった格別の声援と激励は一生忘れることができない思い出です(25年史のP.99に記載)。

当時東京での新婚時代に授かった子供が(出産はソウル)もう成人し30歳になりました。現在ICU(国際基督教大学)大学院に留学しており、安家の日本留学は3代目と続いております。私の父は、1939年に徳島高工を卒業後、朝鮮総督府鉄道局に入局し初の公職に就いて以来、半世紀以上に渡り国家の主要公職を務めており、引き続き私、そして息子と3代が日本に留学するという珍しい日本留学派家門として、親子ともに米山奨学生という栄に浴する機会を得ることを願ってやみません。

私はこれまで日本政府の研究機関間の研究交流において架け橋の役割を忠実に果たしたことが認められ、功労表彰と客員研究委員(Fellow)の名誉をいただきました。これは東京江北ロータリークラブ会員皆様のご支援のお陰と存じております。今後とも会員方々の持続的なご指導、ご鞭撻、ご声援をお願い致す次第です。あわせて、東京江北ロータリークラブの益々のご発展とご繁栄、そして会員皆様のご健勝とご多幸を祈念いたします。

また、物故会員のご冥福を心からお祈りいたします。

ありがとうございます。

(TEL:82-31-400-6310, FAX:82-31-408-5823,
Mail: hdahn@kordi.re.kr)



Congratulations!

元米山奨学生（1989.4~1990.3）

劉 京陽（中国）

神奈川フィルハーモニー管弦楽団
・ビオラ奏者

日本のお父さん

現在、神奈川フィルハーモニー管弦楽団のビオラ奏者として、横浜で妻と小学校6年生になる息子と3人で暮らしています。あつというまに日本に来てすでに20年以上になりました。この間の思い出には、忘れがたい事がたくさんあります。特に印象に残っているのは、やはり日本に来たころのことです。

当時僕は留学生として日本に来たのです。そのころの生活は、毎日とても勉強に忙しく、言葉が不自由な中、緊迫の連続でした。しかし、そんな生活はとても充実していたと感じています。

日本での経験は、中国国内で体験できないことばかりでした。3年間の留学生活はとても短かったのですが、僕の人生において最も重要な経験でした。この短い3年の間に、僕は日本最大の奨学金財団ロータリー米山記念奨学会と出会うことができました。中国人の留学生として初めて僕は米山記念奨学金に合格することが出来ました。米山奨学金を取得することは名誉でしたし、幸せな気持ちで一杯でした。その奨学金は、勉強の面はもちろん、生活に関してもとても重要な役割を發揮しました。

奨学金を受ける間は、僕はロータリー米山記念奨学会、東京江北ロータリークラブの先生方、カウンセラーの先生方と知り合うことが出来ました。先生方は先生であり友達のように、また父のようになってくれました。先生方は、経済的に留学生の僕達をととても助けてくれるだけでなく、精神面、物質面でもいろいろ指導して

くれました。これらの助けは、僕達を安心させて、心配することなく順調に勉強に専念することができました。

先生方の中で、特に僕の専任カウンセラーではなかったのですが、東京江北ロータリークラブの矢島寛先生に出会えたことは、本当に宝となりました。矢島先生は優しく、でも厳しくもあり尊敬できるお父さんみたいな存在でした。矢島先生と知り合ったのは、日本に来て2年目の僕の誕生日の時、東京江北ロータリークラブの岡田先生が自宅で誕生日パーティーを行ってくれました。その時、矢島先生のご家族も招待されていました。矢島先生と初めてお目にかかった時、温かい気持ちを感じました。矢島先生は、中国の自分の家族と離れてとてもさみしい思いをしていた僕にとって、父のように感じました。もちろん、当時お世話になった先生方はとても優しかったです。

月日がたつのは早いもので、僕と矢島先生が知り合って二十年も経ちました。僕はこの20年の間、ずっと矢島先生を“お父さん”と呼んでいます。日本の“お父さん”矢島先生が僕の生活、学業を助けてくださったことはもちろん、祖国中国とかなり違う日本での生活や人との付き合い方などいろいろな面で指導してくれたことに心から感謝しています。

今年、東京江北ロータリークラブ創立50周年ということで、おめでとうございます。その間、多くの国からの留学生が僕と同じように助けられ、勉強に励めたものと思います。今、日本で頑張っている仕事が出来ているのもロータリークラブのお陰だと思っています。

東京江北ロータリークラブの名に恥じないよう、まじめに生きていきたいと思っています。この気持ちを感謝の言葉に代えさせていただきます。

謝謝



Congratulations!

元米山奨学生（1994.4~1995.3）

施 智強（台湾）

東京江北ロータリークラブ創立 50 周年を記念して

新しい 2010 年に入り、一つの手紙が日本から届けられて来ました。

私が日本で留学時に大変お世話になった、東京江北ロータリークラブが今年は創立 50 周年を迎えることとなり、その記念誌の内容の一部のために寄稿を要望するものでした。それを見て自分は、大きく思い悩み落ち込むようになりました。

15 年前の在日の生活をもう一度振り返りながら、いろいろな昔の思い出と出会いに、心からのたくさんの感謝があります。本当は私がかけて優秀な米山記念奨学生とは言えないし、且つ、平成 7 年の 4 月に卒業して、台湾へ帰ってから、ほとんど日本と仕事の間隔を持っていませんでした。ちょうど、平成 20 年の 2 月に子供の卒業旅行のチャンスがあって、14 年振りに再び日本へ戻って、飛行機の窓から東京湾の景色を見ていて、たくさんの在日の思い出が瞬時に戻って来ました。その時の心の感動を今でも覚えています。

私と東京江北ロータリークラブの縁は、米山記念奨学生申し込み時の試験面接官であった、ご逝去された濱野堅照様との出会いでした。その面接試験の時、私は大変遅刻して、恥かしくて廊下でずっと立って待っていたのですが、自分はもうだめで終わるのかな？と思った時、ちょうど、部屋の中の濱野様の眼と私の眼が見つめあって、特別に許して頂き、面接を行って頂きました。自分はもう受け入れてもらえないと思いましたが、米山記念奨学会から合格通知書が届けられて来てびっくりしました。そして、

東京江北ロータリークラブにお世話になりました。初めてクラブの例会に出席した時、濱野様と会って、前の大変な恥ずかしい事が心にあって、その場を逃げ出したくなりました。そして目があつたとたんに、いきなり、濱野様から「そばにきなさい」と言われて、自分もびっくりした事を今も覚えています。

クラブでお世話になっていた間で、一度クラブの皆様と一緒に、濱野様の箱根の別荘に招待されて、その時、周りの景色が素晴らしく、境内の森や別荘自体は、もちろん地方文化財に指定されたものでした。特に、応接間から廊下の雨戸ガラスを通して、外の景色を見ると、自分の心は大きな感動でいっぱいでした。その感動したのは、雨戸ガラス板を通して見えた柔らかい景色でした。その場で濱野様に質問し、「廊下の雨戸のガラス板は特殊な窓ガラス板ですか」、濱野様が微笑ながら答えてくれたのが「いいえ、あのガラス板は昭和初期に作った物を使っている。君もよく気がついたね」濱野様のような偉い人でも、簡単に物を捨てるのではなく、物事に対して大事にしていることが大きな感動で、これは、ご逝去された濱野堅照様から、日本人の素晴らし心を教えていただいたものだと思っています。私は今までも、自分の仕事上や日常生活に日本人の心を生かして、その影響は日々ずっと与えられていて、私にとっては大きな財産になりました。

米山記念奨学期間に変、お世話になったカウンセラーの矢島寛様から、いつも、日本から続けて応援してくれるおかげさまで、今までも、いろいろと勉強になっています。矢島様は若い頃、仕事のために台湾で生活していたし、ご家族は台湾の事をよく知っているので、わざわざ子供達の新婚旅行は、台湾までやって来ました。現在、矢島家の孫と私の子供とは、よく知合い、仲良くして、私の家の子供たちは、私たち夫婦



Congratulations!

が矢島様を「お父さん」と呼んでいますので、自然で皆と同じように矢島寛様を「おじちゃん」と呼んでいます。このような縁が出来た事を我が家では、とっても大事に受け入れています。そして、自然に次の世代にこの関係が継承されるようにしたいと思っています。

これからも、いつも私に支えてくれている矢島家の皆さんと多くの友人たちへの感謝の心を忘れず、こうして、これまでお世話になった方々を思い浮かべると、本当に感謝の気持ちで胸がいっぱいになり、心から「感慨無量と感懐萬千にして」有難うございますという言葉が出てきます。

米山記念奨学会に感謝し、東京江北ロータリークラブの創立 50 周年を心からお祝い申し上げます。

元米山奨学生 (2000.4~2001.3)

H'ng Gaik Teong (マレーシア)

My Experience as a Yoneyama Rotary Scholar

I was watching the flickering lights as the price of various currencies and commodities fluctuates on the monitor of my computer. While in the process of executing a spread trade in gold and Australian Dollar, my cellular phone rang. It was from a dear friend, Yajima Hiroshi-san, who together with Ito Takashi-san mentored me when I was a Yoneyama Rotary Scholar of the Kohoku Chapter in Tokyo. Needless to say, it was a very pleasant surprise and when Yajima-san asked whether I would be willing to write a short article for the 50th anniversary of this chapter, I answered yes without hesitation.

I was lucky to have been chosen as a recipient of this scholarship in my sophomore year while pursuing a degree in engineering at the University of Tokyo. Being a student who had to juggle his time learning Thermodynamics, Fluid Mechanics and Advanced Calculus in a foreign language while working part-time as a menial labor transporting heavy cargo and teaching English at an "ei-kaiwa gakkou" to supplement his livelihood, the monetary contribution extended by the Rotary Club was a huge relief as it helped pay for the tuition fees. But it did not end there. The beauty of being part of the Rotary Club family was that foreign students like myself was exposed to various Japanese culture and tradition which we continue to cherish for many years after we gradu-



Congratulations!

ate and in my case, even after leaving Japan.

In one of the Japanese New Year celebration, Yajima-san invited me to his house. His family was extremely hospitable as I joined them for "hatsu-moude" to a nearby shrine a stroke after midnight. It was as exceptionally cold winter that year as I remembered. Therefore, for a person coming from the equatorial region, in a small tropical island called penang in Malaysia, walking in pitch darkness in zero-degree freezing temperature was not exactly my cup of tea. As Yajima-san and his son guided me along the zigzag narrow path as we head towards their family shrine, I was questioning myself under my breath whether it was the right decision for me to give up the warmth and comfort of my futon in Todai Oiwake-ryo for this exercise. But once we reached our destination, paid respect to the guardian of the shrine and sipped my first cup of amazake, the whole process was extremely worthwhile. And till this day, I can recall the sweet taste of that rice-wine concoction handed to me on that chilly New Year morning. We then proceeded back to his cosy home, watched the typical "shogatsu" TV program and at sunrise feasted on "o-sechi-ryori".

Members of the Rotary Club are well-known for their kindness and generosity towards their fellow mankind. Ito-san is the epitome of all these noble values. He used to talk to me about good ethics and values, albeit sometimes in a very philosophical manner. Educated in the United States and having a deep academic interest in philosophy, he is somewhat of a newer breed of Kohoku Rotarian who complements and adds diversity to the chapter. He definitely made a very strong impres-

sion on a sophomore student like me who was still struggling to understand the world and especially what felt like an exotic and unique Japanese culture. So having both these two Rotarians in Ito-san and Yajima-san who come from slightly different background but who share strong values to provide guidance to me back then in my early-20s was a luxury!

It has been close to a decade since I graduated from college. After a few years working in Tokyo, I have since traveled and worked in other cities including New York, London and Hong Kong where I currently reside. But Japan, especially the fond memories of Kohoku Rotarians where I was extremely privileged to learn from and be associated with will always be a permanent feature, something close to my heart. I aspire to be as successful, selfless and generous as these fine gentlemen one day!

Congratulations Rotary Club Kohoku Chapter on our 50th Anniversary!

【和訳】

米山記念奨学生としての私の経験

ハン・ガイク・ティオン

私はコンピュータのモニター上で様々な通貨と商品の価格が変動し揺らめいているライトを見つめていました。普及されている下取り金とオーストラリアドルが映し出されている最中に、私の携帯電話は鳴りました。それは親愛なる友、矢島寛さんでした。彼は私が東京江北ロータリークラブで米山記念奨学生であったときに、伊藤隆さんと共に私を指導して下さいました。言うまでもなく、それは非常に嬉しい驚きでした。そして、矢島さんがこの50周年記念誌のために寄稿してもらえないかと尋ねられ



たとき、躊躇せずにはいと答えました。

私は東京大学で工学位を学んでいた大学2年生の時に、この奨学金の受給者として選ばれた事は幸運でありました。私は生計を補うために英会話学校で英語を教えたり、重量貨物を搬送する下働きのアルバイトをしたりしながら、熱力学、流体力学、そして上級微積分を外国語で学ぶ時間もつくらなければならない学生でありました。米山記念奨学会からの長期にわたる奨学金は、授業料を納付する時非常に大きな救済となりました。しかし、そこで終わりませんでした。ロータリークラブ家族の一員となった妙味は、私のような留学生たちが卒業した後でも、私の場合日本を去った後でも、何年間も愛し続けている様々な日本の文化や伝統を広めていく事だと思います。

ある日本の正月祝いの事です。矢島さんは私を自宅へ招待してくれました。彼の家族は零時過ぎにすぐ近くの神社へ“初詣”に一緒に行った時、非常に快く私を受け入れてくれました。その年は私が覚えている中でも例外的に寒い冬でした。したがって、マレーシアのペナンと呼ばれる小さな熱帯の島、赤道の地域から来ている人にとって、零度の凍り付くように寒い気温の中、真っ暗闇で歩くのは、まさに私の好みではありませんでした。矢島さんと彼の息子がジグザグな狭い道に沿って私を案内し、私たちが他の神社へ向かって進んでいる間、私は自分自身に小声で問い掛けていました。この運動のために東大おいわけ寮の温かくて快適な布団を諦める事は私にとって正しい決断だったのだろうか。しかし、私たちがいったん目的地に到着し、敬意を神社の神に表して、初めて飲む甘酒を口にした瞬間、ここへ来るまでの過程は非常に価値あるものに思えました。あの肌寒い正月の朝に手渡されたあの米ワイン調合の甘味を今日まで思い出すことができます。そして、

私たちは彼の居心地よい家に戻ってから、典型的な“正月”テレビ番組を見て、日の出時に“おせち料理”のごちそうを食べました。

ロータリークラブのメンバーは彼らの仲間に対して優しさと心の広さがある事でよく知られています。伊藤さんはこれらすべての高貴に値する典型的な人物です。彼は時々非常に哲学的な物腰で話しますが、以前はよくためになる倫理と価値について私に話して下さいました。合衆国で教育を受け、哲学に深い学究的関心を持っている彼は、東京江北ロータリークラブのよさを引き立て、多様性に富んだいくぶんか新しい種類の東京江北ロータリアンであろう。彼は確かに強烈な印象を私に与えました。異国的で独特に感じる日本文化を理解しようと奮闘している私のような大学2年生の学生にとって。したがって、当時20代前半であった私はわずかに異なった環境で育ったロータリアンの伊藤さんと矢島さんからご指導頂き、優れた価値を分け合って下さったお二方に会えた事を贅沢に思っています。

私が大学を卒業してから10年近くになります。東京で働き始めた数年後から、ニューヨーク、ロンドンと私が現在住んでいる香港を含めて他の都市で働いたり、旅行したりしています。しかし、日本は、非常に特権ある学びができ、交流をもてた東京江北ロータリアンとの特に好きな思い出はいつも永久的な特徴をもち、私の心の近くにあるでしょう。私は、いつかこれらの良き紳士たちのように寛容で無私無欲な成功者となれる事を願っています！

東京江北ロータリークラブの創立50周年、おめでとうございます！



Congratulations!

元米山奨学生（2001.4~2002.3）

成 昭恩（韓国）

“祝東京江北ロータリークラブ・五十而知天命”

今より 10 年前の春、初めて上野の精養軒に足を運びました。その日のことは今も鮮明に覚えています。当時大学院生であったわたしは 2000 年度の米山奨学生として選定され、数多い地区の中でも第 2580 地区の奨学生として東京江北 RC の皆様と一年を共にしはじめた日であったからです。“一つの仕事をする時も真心こめて考える、これは誠か真実か”と素敵な年輩の紳士たちが声を上げて歌える姿はとても新鮮で印象的なものでした。クラブのアイデンティティが伝わってくる一瞬でもありました。その年は、わたしは 30 歳（三十而立）で、東京江北ロータリークラブは 40 周年となる年でした。それから 10 年が過ぎ去りました。

『論語』の「為政篇」には人生の歩みを世代ごとに語っているところがあります。その中で孔子は、自ら吾十有五而志于学、三十而立、四十而不惑、五十而知天命云々というように告白しています。わたしが学問を立てるときに、あらゆる動揺から自由になれる「不惑」を迎えた東京江北 RC に出会ったのです。勉学の味方となる奨学金だけではなく、月々の例会での交わり、そして様々な活動に参加させていただくなかで東京江北 RC は共に笑い共に行動する愉快で心強い我が友達となりました。

10 年という歳月を重ねて、もはや今はわたしが不惑という慎む年令となり、東京江北 RC は天の理を知る「知天命」という立派な大人となりました。現在、21 世紀を生きている地球村は経済、環境、貧困など国境を越える数多くのグローバル・ 이슈にさらされています。

ここに東京江北 RC の召命と役割があると信じます。国家あるいは個人ができないミッションをもロータリアンはできます。それはロータリアンは狭い国益や個人の利益を超えて「奉仕の理念」に基づき、皆の幸せを夢見るからです。

短い一時ではありましたが、そのような共同体に仲間入りさせていただき、志しを共にすることができたことを嬉しく思っております。今後も奉仕というロータリアンの香りが益々広まって、時には暗い社会の光となり、時には花を咲かせる基肥となることを願います。

最後に、愛をこめて、東京江北ロータリークラブ 50 周年記念を心よりお祝い申し上げます。“皆様、おめでとうございます！”



Congratulations!

元米山奨学生（2004.4~2006.3）

李 東輝（中国）

どうすれば恩を返せるのか？

縁あって米山奨学生に選ばれ、ロータリークラブには大変お世話になりました。

この奨学金を頂いた2年間にこのご縁のおかげで私は東京江北ロータリークラブの例会や、家族会、クリスマス会といった様々な行事に参加することができました。勉強や研究以外にも様々な事を体験し、日本文化の違いを理解し、文化・芸術の良さを学び、深めていくことが出来ました。同時に自分の国の文化への理解、さらに世界への理解を深めることにもつながりました。

奨学金を頂いた2年間にカウンセラーの小出先生を始めに沢山の方に励ましていただきました。その心温まる支援や声援があったからこそ、私は辛い事を乗り越えて博士課程を過ごすことができたのだと思います。

「どうすれば恩を返せるのか？」と常に自問しました。この時に小出先生から頂いた一言を良く思い出しました。恩を返すというのは「戻す」のではなく「送る」のです。この一言が私の心に響く言葉になりました。恩を受けた人は別の3人を助けて、その3人が9人を助けることができれば、簡単な計算をするとたくさんの人々を助けられます。ロータリアンを見習い、自分でもできることからやってみようと考えました。このように物事を考えられるようになったのも、この留學生活、特にこの2年間米山奨学生として様々な経験をさせていただいたおかげだと思っています。

この素晴らしい奨学制度で、一人でも多くの留学生にこのような貴重な経験をしてもらいたいと願っています。

元米山奨学生（2006.4~2007.3）

付 立華（中国）

ロータリークラブへの恩返し

2006年4月から2007年3月までの一年間はロータリー米山記念奨学生として東京江北ロータリークラブにお世話になりました。その一年間は苦学生の私にとって経済的にも、心にも、ゆとりを与えてくださいました。

中国には“滴水之恩，当涌泉相报”という言葉があります。それは人からほんのちよつとの恩恵を受けても、全力を尽くして恩返しをしなければならないという意味です。私もこの言葉を肝に銘じ、いつかロータリークラブの皆さまに恩返しできればと思っていました。

ちょうど2007年チベット鉄道が開通し、中国の中でも、海外でも、チベット観光がブームとなりました。私の実家はチベットの隣県、青海省というところで、しかも私はチベットには一回行った経験がありました。普通の中国人よりは少しチベットについて詳しくかったです。それで当時非常に親切に接して下さった矢島様に“良かったらチベットを案内いたします。”と誘いました。

矢島様はたいへん中国にくわしい方で、チベットにも興味を持っていました。私の誘いを聞いて、すぐ“行きましょう。”と言ってくださいました。そして私による大胆かつ無謀な中国の長い旅が現実しました。メンバーは、矢島さん、坂田さん、海老沼さん、谷中さん、芝さんと私を入れて6名、路線は日本—上海—西寧—ラサ—成都—九寨溝—日本という体力的につらい旅でした。

普通の旅行会社は、多分二回に分けていく路線と思いますが、当時私はラサの旅が非常に大変なので、つらい思い出だけを残して日本に帰



るのが、大変申し訳ないと考えて、中国では最も美しい景勝地の九寨溝、黄竜を旅の最後のクライマックスとしていました。

高地に体を慣らすための西寧は、私の実家所在地であるため、メンバーの一人が旅の疲れで目が腫れあがって病院に行ったほかは、トラブルなしで無事に西寧に着き、私の実家に寄って、家族とも会ってもらいました。

翌日の夜、憧れのチベット鉄道に乗りました。一夜明け、車窓からあたり一面の荒涼たる大地が目に入ってきました。この景色を鑑賞できるのもほんの束の間で、すぐチベット高原の厳しさが思い切り知らされました。

朝 10 時過ぎ頃、海拔が 3000 メートルを超え始めると、高山病のいろんな症状が現れ始めました。頭痛、吐き気と体のだるさで外の素晴らしい景色を見る余裕を失い、殆どの乗客はベッドに横たわり、チューブで酸素をすいはじめました。

寝台車のシートと布団カバーは真っ白だったので、酸素チューブを差し込んで横になっていた乗客たちはまるで病院で救急されているように見えました。

なんで高い旅費を払ってこんな大変な思いをしなければいけないのと言っていた乗客は何人もいました。でもこの高山病の体験もいい旅の思い出ではないかと思います。一行の 6 人は少しずつ体を慣らしたお陰で、チベットの県庁所在地ラサでは世界一番高い温泉（4000 メートル）に入り、たくさんの階段を登らなければならないポタラ宮の見学、バスで 5000 メートル超の峠を越え、世界一高い塩湖の観光もできました。

ラサの次の観光地の九寨溝と黄竜も高地で、高山病で観光できなくなる観光客が多くいましたが、私たち 6 人は酸素の補充なしに、みんな元気で楽しく、この世界でも珍しい風景を満

喫することができました。

私たちがチベットにいった翌年は、チベットに暴動が起きてしまい、またその次の年は四川大地震も起きてしまいました。これらの原因でチベットと九寨溝、黄竜へは比較的に行きにくくなりました。この旅は確かに大変な旅でしたが、中国の雄大かつ美しい風景を見られて、とても価値のある旅であったと私は思います。

東京江北ロータリークラブで、中国語の勉強会を開いてくれたり、日頃から色々とお世話になった 6 人との楽しい旅が出来たのも、ロータリー米山奨学生になったお陰だと感謝しています。

しかしこんな大変な旅を自分で計画して案内することはもういいと思います（笑）。



Congratulations!

元米山奨学生 (2007.4~2008.9)

アメッド・イーサン・マハディー
(エチオピア)

ロータリークラブとの縁がもててよかったこと

ロータリークラブとの出会いは、私が大学3年生の時からです。最初はロータリークラブについてあまり知識がなかったけれど、例会に参加したり、いろいろなイベントに参加したり(年末クリスマス会)、カウンセラーの谷中さんの家族と様々な楽しいことをしたりして、本当にロータリークラブのことを理解できたと思います。

私にとって、ロータリークラブはただ月々例会に参加して奨学金を受け取ることだけではなく、毎月の例会や様々なイベントに参加することでロータリアンやその家族の間に生まれた関係は、私にとって家族のように感じられるようになりました。それも当然のこと、なぜならば、米山奨学生の期間を終えた今でも、まだカウンセラーやロータリアンと築いてきた関係が続いているからです。それも、毎回会うたびに、私の状況についていろいろ心配してくれたり、これからの自分の目標にも経験不足の私にアドバイスをしてくれたりすることが大変貴重だと思うからです。

これからもこの縁を大切にしていきたいし、ロータリアンとカウンセラーの関係ももっと深くなっていけば幸いです。

これからもよろしくお願いします。

米山奨学生 (2008.4~2011.3)

朴 英美 (韓国)

東京江北ロータリークラブに思うこと

2008年4月から私は、東京江北ロータリークラブで世話になる米山奨学生になりました。ロータリークラブで学んだことは数え切れないほどたくさんあります。日本に来る前、私の生活は学校の勉強を中心としたものでした。ある意味では、東京江北ロータリークラブに入ってから、社会にでることになった訳です。

ロータリークラブの皆様との生活で、私の未来への計画も変わりました。勉強しかわからなかったのですが、今はいろいろな意味で人生を楽しんでいきたいと思っています。

私にとりまして全ての会員の方が大切な人生の指導者ですが、坂田修一さんには、海の楽しみ方を学びました。人間の立場を考えてくれない海は、運命という大きい課題のように感じられます。また穏やかな海の中にいる時は、その平穏さで人間を癒してくれるのです。

東京江北ロータリークラブーダンディな鈴木喬さん、お坊さんかもしれないと思った矢島寛さん、海老好きの海老沼孝二さん、ドーベルマンと似ている名前のベルマン・ピーターさん、米山奨学生のアイドル守屋裕之さん、伊藤隆さんなど、会うたびに微笑んでくださったロータリアンの皆様にとっても感謝しています。特に、カウンセラーの佐藤徹さん一家に感謝しています。お正月に私は佐藤家に代々受け継がれた着物で、アヒルから白鳥に変身したのです。この誌面にその写真をのせられないのが残念です。着物がとても似合っています。

東京江北ロータリークラブの皆様から頂いたものは多く、恩返しができるかしらと心配して



Congratulations!

いましたが、願いが叶いました。地区大会で、元 RI 会長の李東建さんの通訳を担当したことです。実は、韓国大使館の特別通訳官キムヨンソンの本では、「李東建会長ほど我が儘で身勝手な人は会ったことも見たこともない」と書かれているそうです。その本を先に読んでおかなかったことは失敗でした。読んでいたら引き受けなかったのにと、私の勉強不足を知るところとなりました。しかしながら、地区大会では東京江北ロータリークラブの皆様が手を振ってくださり、尊敬するクラブ会長の高橋祐太郎さんも暖かい言葉を掛けてくださり、私は緊張せずに無事に役目を終えました。

ロータリアンとの出会いは、私の人生の大きな経験です。話したい思い出が山ほどありますが、この機会に東京江北ロータリークラブの皆様に感謝の気持ちが伝えることができれば幸いです。

米山奨学生（2009.4~2011.3）

朴 貞玉（韓国）

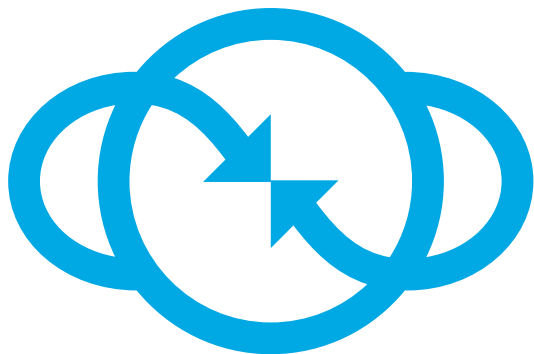
米山奨学生として思うこと

米山奨学生として入ってきからそろそろ一年になろうとしています。

今まで奨学生として様々な方面でご活躍のロータリアンの方と交流をしてきましたが、やはり思いやり溢れるお心遣いに支えられてきた日々が多く、そのご恩を目に見える形としてお返ししていきたいという強い感謝の気持ちを常に持つようになりました。色んな方々から支えられている自分の立場を、時には幸せに、時には早く博士を取らないと、というちょっとしたプレッシャーに感じることもありました。

ふと思うと、最初の例会に参加した後日、カウンセラーの守屋さん宛てに以下のようなことをメールしたことがあります。「一般的な奨学財団はその殆どが国際交流の理念を図る段階までには至らず、奨学金を与えることに止まっているのですが、やはりロータリーは違ったのですね。国際交流を行動レベルできちんと図っていることが伝わり、とても感心しました。学校で私を米山記念奨学会に推薦してくれたことに改めて感謝しました。毎月が本当に楽しみです。」振りかえってみれば、このような気持ちは今までもずっと変わらず残っています。経済的な面を始め、留学生の日本での生活場面や情緒面など等、幅広いメンタルヘルスまでの皆様の心温まるご配慮はことばに表すことのできないぐらい私の中では感謝として存在しています。

皆様からのご恩に報いるためにも、これからの研究活動により一層の努力を重ね、邁進する覚悟であります。



東京江北ロータリークラブにおける 青少年交換プログラム

国際奉仕委員会

1. 概略

青少年交換プログラムとは、16歳から18歳の高校生を海外のロータリークラブとの間で派遣あるいは受け入れて、相互に1年間の学校生活を送ってもらうこととするロータリーの1事業であり、我が東京江北ロータリークラブでは、当クラブが属する国際ロータリー第2580地区の地区青少年交換委員会

のもとで実施している。

このプログラムでは、留学生は派遣先のごく普通の家庭にホームステイしながら学校に通い、家族そして町の一員として扱われ、互いに「小さな親善大使」を務めるものです。

また、このプログラムによって派遣され、帰国した後はローテックス／ROTEX（Rotary EXchange：ロータリー交換留学生）として、以後の受入国あるいは派遣国の留学生のお世話をしている。

当地区では、地区に属する各クラブの持ち回りで3～5年に一度の割合で受け入れ、派遣している。

尚、当クラブにおける青少年交換プログラムの担当は、以前はこのプログラムを担当する理事を任命していたが、理事の担当分担の改正その他によって現在は国際奉仕委員会である。

2. 当クラブにおける青少年交換プログラムによる派遣、受入学生

- ①受け入れ
- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1984.08 ～ 1985.07 | レーガン・エバーハート（アメリカ） |
| 1987.08 ～ 1988.07 | ジェネベーブ・バルソローム（ベルギー） |
| 1991.08 ～ 1992.07 | エリック・ドイッチェ（アメリカ） |
| 1995.08 ～ 1996.07 | シナモン・ローズ（オーストラリア） |
| 1998.08 ～ 1999.07 | ザッカリー・ザック・スナイダー（アメリカ） |
| 2002.08 ～ 2003.07 | リナ・アズラ（マレーシア） |
| 2006.08 ～ 2007.07 | ディアン・グレニエ・ボードアン（フランス） |
- ②派遣
- | | |
|-------------------|----------------|
| 1985.03 ～ 1986.07 | 小川 雅子（オーストラリア） |
| 1992.07 ～ 1993.07 | 加藤 寧子（オーストラリア） |
| 1997.07 ～ 1998.07 | 児玉 真理（オーストラリア） |
| 2002.07 ～ 2003.07 | 菅原 悠子（タイ） |
| 2009.07 ～ 2010.07 | 香西 敬介（ブラジル） |



Congratulations!

元青少年交換学生（受入）（1998~1999）

Zachary Zack Snyder (米国)

In 1998-99 I was sponsored by the Tokyo Kouhoku Rotary Club to spend 9 months in Tokyo. It was one of the most memorable stretches of my life. I am deeply indebted to my host families for their generosity in accepting me into their home. I have fond memories of my times with the Sakata, Hamanaka, Suzuki, Kuroda, Yajima, and Ishinabe families.

I attended school at Nichi Dai Ichi Ko where I joined the long distance running team. I have friends from Nichi Dai that I still keep in touch with 11 years later. Two friends even came to visit me at my home in Pittsburgh, PA.

My most valuable memories from my time in Tokyo are the simplest things. I really enjoyed evening conversations with my host parents and host siblings. I enjoyed playing games of Shogi, drinking green tea before bed, walking along the busy streets of Akihabara or Shinjuku, eating delicious food cooked by my host mothers, and hanging out with my friends from school. These simple memories are the ones that I value most, and could never be had on just a short vacation.

Of course I also had some amazing experiences while I was there. I saw a sumo match and was there for the season 武蔵丸 光洋 was promoted to yokozuna, participated in a Sailing race with Mr. Sakata, and relaxed in famous hot springs after climbing Mount Fuji.

Today, I am in my last year of pharmacy school at the University of Pittsburgh. I have been married for 6 years, and hope to visit Ja-

pan again in the next few years. My wife would like to meet the people that I frequently talk about. Of course, I also look forward to seeing my friends and host families again.

I would like to thank the Tokyo Kouhoku Rotary Club one more time for their support of me and the international student exchange program. When I was leaving Japan in May 1999, Mr. Yamazaki presented me with a framed painting of Mount Fuji as a gift from the Rotary Club. It hangs in my living room, and reminds me of the amazing experiences I had in Japan.

【和訳】

ザッカリー・ザック・スナイダー

1998年から99年にかけて、私は東京江北ロータリークラブのスポンサーの下、9ヶ月間を東京で過ごしました。それは、私の人生において最も記憶すべき期間の一つでありました。私を受け入れて下さったホストファミリーの寛大さにも深く感謝しています。坂田、濱中、鈴木、黒田、矢島、そして石鍋の家族の皆とは本当に楽しい時間を過ごしました。

私は日大一校で勉強し、そこでは陸上部の長距離チームにも所属しました。留学後11年経った今でも日大一校の友達とは連絡を取り合っており、そのうち2人はペンシルバニア州ピッツバーグの私の実家へも会いに来たほどです。

私が東京で過ごした時間の中でも最も貴重な思い出はシンプルなものばかりです。ホストファミリーとの毎晩の会話や、将棋をしたり、寝る前に緑茶を飲んだり、秋葉原や新宿の込み合った大通りを歩いたり、ホストマザーの作った美味しい料理を食べたり、学校の友達と遊んだりしたのは本当に楽しいものでした。これら



のたわいない日常の出来事に私は最も価値を見出し、短期間の日本滞在では決して得られなかったものだと感じるのです。

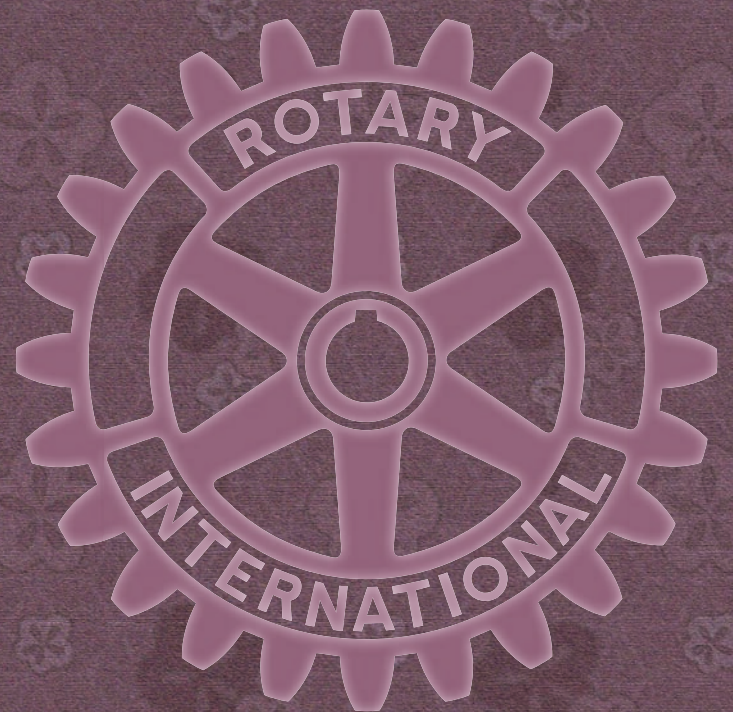
もちろん、日本にいる間に驚くべき体験もしました。武蔵丸光洋が横綱に昇格した時期に相撲観戦に行きましたし、坂田のお父さんとヨットレースに参加したり、富士山に登った後、有名な温泉にゆったりつかったりしてくつろぎました。

今日、私はピッツバーグ大学の薬学部において最終年を迎えています。結婚して6年になり、数年後には妻とともに再度日本を訪れたいと考えています。彼女も私の会話によく出てくる日本人たちに会いたがっていますし、もちろん私も高校留学時代の友達やホストファミリーに再会できるのを楽しみにしています。

最後に私と国際交流プログラムを支援してくださった東京江北ロータリークラブにもう一度御礼申し上げます。1999年5月に日本を発つとき、山崎氏がロータリークラブからの贈り物として額に入った富士山の絵をプレゼントしてくださいました。それは私の家のリビングルームに飾ってあり、日本での素晴らしい体験を今も思い出させてくれます。

第 IV 部

諸資料・諸記録





東京江北ロータリークラブ所属の地区と分区の変遷

1960 年創立時の当クラブの所属地域は「第 355 地区第 3 分区」である。

1961 年から「第 358 地区東京都第 3 分区」に所属名が変更される。

1965 年から「東京都第 4 分区」に所属名が変更される。

1967 年には一時的に第 5 分区に編入され、「第 5 分区」となる。

1968 ～ 1979 年までは再び「第 4 分区」に所属となる。

1980 年から第 275 地区と分割され、「第 258 地区東分区」に所属名が変更される。

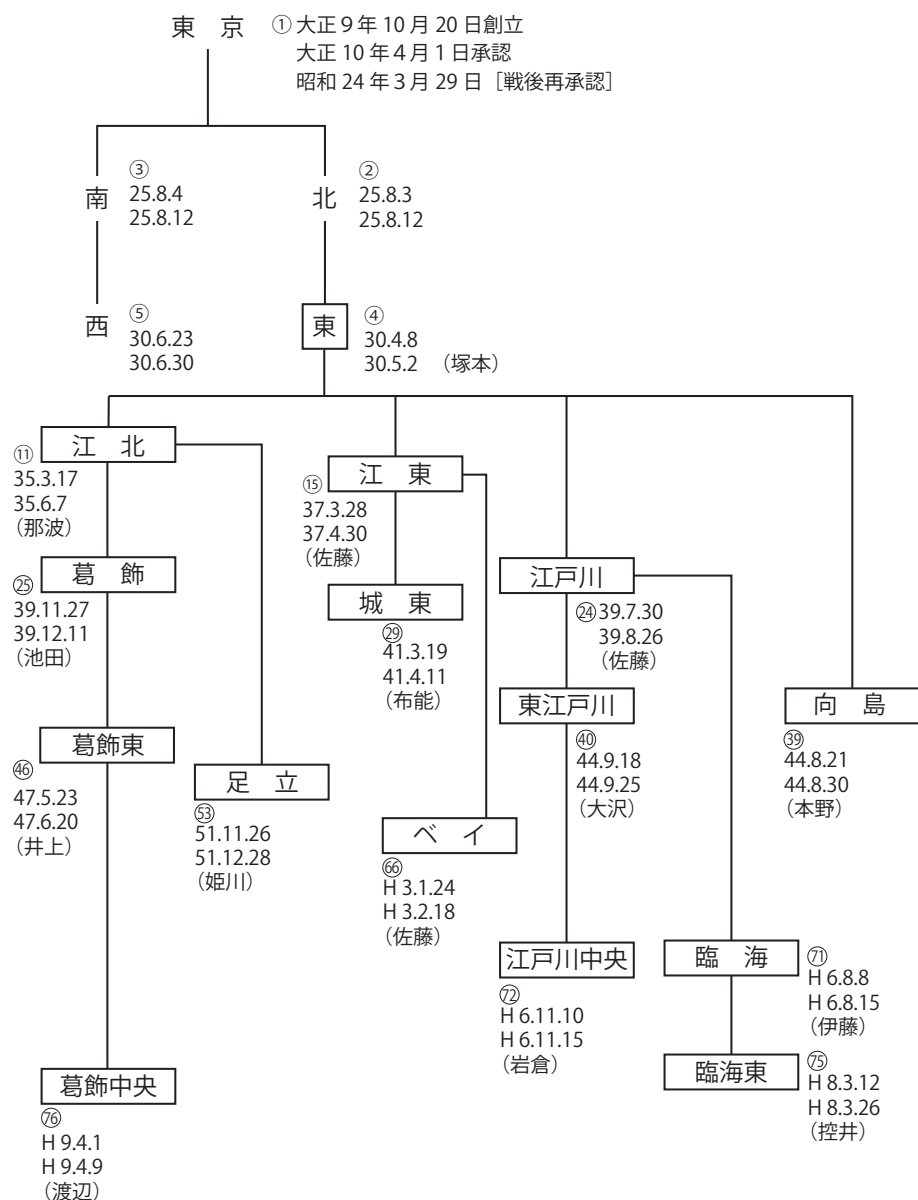
1991 年から第 258 地区の地区名称が変更となり、「第 2580 地区」となる。

2010 年時の所属名は「第 2580 地区東分区」である。

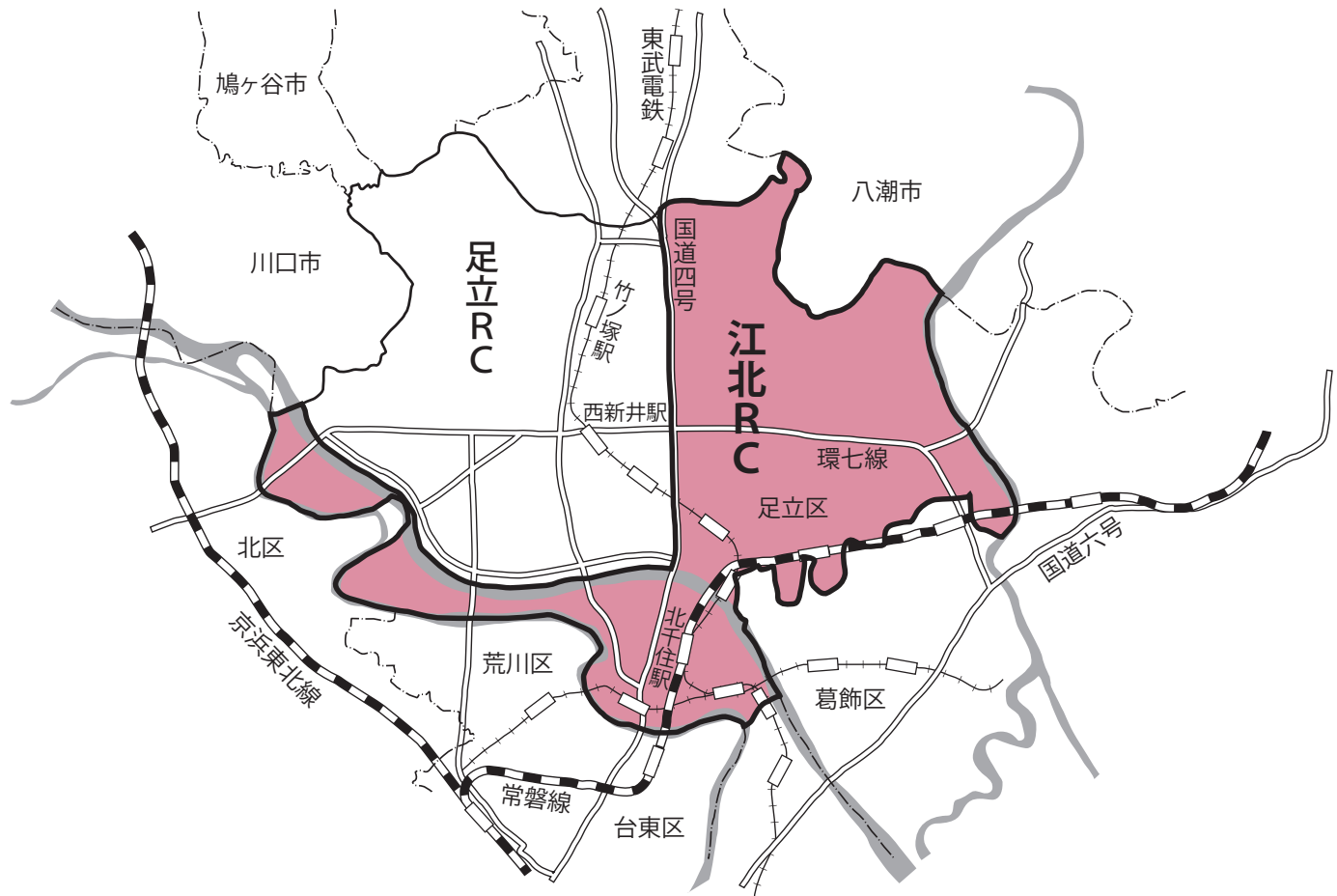
また、各分区年度の責任者を「分区代理」と呼んでいたが、1999 年から「ガバナー補佐」に名称が変更された。

【東京東 RC 関係の東京 RC からのクラブ設立の流れ】

() 内は特別代表名



【東京足立 RC 設立時の東京江北 RC の地域図】





東京江北ロータリークラブ 創立以来在籍会員一覧

番号	入会年月日	氏 名	勤 務 先	退会年月日
1	1960. 3. 17	阿 部 久 一	江戸川化学(株)	1960. 8. 11
2	(創立日)	青 木 晟	(株)青木工業所	1964. 8. 13
3		長 勇 三 郎	ニューロング工業(株)	2008. 1. 1
4		江 本 護	ミヨシ油脂	1975. 6. 26
5		平 沢 好 男	愛国メッキ(株)	1971. 6. 15
6		出 浦 清 一	三菱製紙(株)	1960.10.20
7		池 田 和 夫	スタンダード製靴(株)	1989. 3. 9
8		井 関 昌 孝	井関農機(株)	1961.10.31
9		門田 甚一郎	(株)三菱銀行千住支店	1963.11.14
10		神 山 真	丸三製紙(株)	1978.10.13
11		前田 初太郎	前田鉄工所(株)	1968. 6. 20
12		松 尾 一 郎	東洋ゴム(株)	1961.12.31
13		森 尾 俊 樹	森尾電機(株)	1969. 6. 26
14		岡 田 静 夫	岡田タイヤ工業(株)	1974. 6. 27
15		島 村 弁 吉	日新工業(株)	1966.11. 2
16		鈴木 一太郎	合名会社鈴木保有社	2006. 6. 30
17		鈴木 又右衛門	大成倉庫(株)	1972.11.26
18		滝 沢 竹 松	旭染色工業(株)	1993.10.14
19		樽 澤 正	正和自動車(株)	1970.12.24
20		寺島 佐太介	(株)三井銀行千住支店	1961. 6. 30
21		吉 田 驥	日立製作所(株)	1962. 3. 15
22	1960.10.13	黒田 市治郎	黒田薬品	1980. 5. 14
23	10.27	和 田 晴 吉	(株)和田精工所	1968. 5. 2
24	12.13	伊 藤 雅 俊	イトーヨーカ堂	1974. 3. 14
25		小 松 緑 郎	(株)帝国ギヤ製作所	1963.11.14
26	1961. 4. 13	山田 福太郎	三栄金属工業(株)	1973. 8. 17
27	5.25	浜 野 帰 一	浜野オイルシール工業(株)	1971. 6. 17
28	6. 8	森 健 次	東日本塗料(株)	1969. 7. 3
29	7.13	八木 弥太郎	(株)三井銀行千住支店	1964.11. 8
30	10.12	井 上 隆 利	井上病院	1964.11.19
31		太刀川 幸夫	森尾電機(株)	1975. 4. 3
32		中村 徳五郎	鳥市商店	1972. 6. 1
33	10.19	佐々木 芳太郎	佐々木病院	1975. 4. 3
34	10.16	杉 田 信	(株)鬼怒川ゴム	1962.12. 3
35	12.14	松井 孝一郎	大東通運	1979.11.17
36	12.21	青 木 房 吉	(株)西新井製作所	1973. 1. 11
37	12.28	赤 羽 修 司	東京工罐(株)	1972. 4. 6
38	1962. 3. 22	梅沢 潤三郎	(株)梅沢商店	1964.11.19
39		東 平 孝 徳	東栄化工(有)	1965.11.25
40		二 葉 要	レストラン二葉苑	1964. 5. 14
41	3.29	松 岡 保	(株)葛飾プレス工業所	1965. 8. 19
42	4.19	近松 欽之助	日立製作所(株)	1964. 2. 20
43		水 谷 正 一	水谷輪業(株)	1982. 7. 1
44	5.19	中 山 一 郎	日経アルミ	1965. 2. 15

番号	入会年月日	氏 名	勤 務 先	退会年月日
45	6.28	小 滝 悦	(株)コタキ製作所	1965. 1. 14
46		高 橋 正 實	金澤建設(株)	1965. 1. 6
47		濱 野 堅 照	西新井大師総持寺	2004.11.18
48		二 葉 信 幸	(株)みどり堂	1980.12. 4
49	11.15	田 中 三 郎	千住金属工業(株)	
50	12. 2	西 脇 秀 夫	(株)三井銀行千住支店	1964. 8. 27
51	1963. 5. 2	浜 野 富 蔵	阿部商事(株)	1972. 5. 4
52		安田 繁太郎	安田製作所	1964.11.19
53	5.16	岡 本 一 良	鯨岡製袋所	1980. 5. 1
54	5.23	桑 野 福 次	(株)大和護謄製作所	1968. 6. 20
55	8.22	高橋 道之助	(株)三菱銀行千住支店	1966. 5. 12
56		日 暮 一 雄	永田製パン(有)	1969. 3. 20
57	1964. 2. 20	姫 川 親 一	桐栄産業(株)	1979. 5. 12
58		村 田 三 郎	大成土木	1978. 2. 2
59	3. 5	井 上 信 蔵	足立信用金庫	1969. 2. 15
60	4.16	梶 原 栄 一	日立製作所足立工場	1969.12.18
61		土 屋 久 雄	土屋病院	1982.10. 1
62	4.23	安井 雄四郎	安井工業(株)	1996. 2. 10
63	7. 1	山 本 修 二	大日本機械工業	1966. 7. 7
64		松 島 勇 平	三立製菓(株)東京工場	1966. 9. 1
65	再入会	小 松 緑 郎	帝国ギア(株)	1966. 7. 7
66	9.17	塩 山 豊	(株)三井銀行千住支店	1996.10.27
67	1965. 1. 7	橋 本 善 一	橋本金属工業(株)	1973. 1. 11
68	1.28	鈴 木 精 次	都立足立工業高校	1969. 4. 4
69	7.29	栗 林 敏 夫	ペトリカメラ	1974.11.22
70	8.26	安 藤 房 夫	日本生命保険相互会社千住支社	1969. 2. 1
71		長谷川 利雄	(株)長谷川商店	1966.10.13
72	1966. 2. 10	田村 辰五郎	竿常釣具製造	1966. 4. 28
73	3. 3	岩 谷 慶 吉	(株)岩谷製作所	1974.11.24
74	6. 2	大 島 渡	(株)三菱銀行千住支店	1969.10. 9
75	7. 7	浜 田 猛	(株)富士銀行足立支店	1968. 5. 9
76	10.27	西川 猪佐雄	丸善電工(株)	1974. 7. 5
77		服部 音五郎	(株)足立タクシー	1971. 6. 17
78	11.24	浦 壁 啓 吉	光陽社	1974. 6. 20
79	1967. 1. 5	久保田 新之介	東京電設工業(株)	1977. 7. 7
80		田 村 一 良	竿常釣具製造(株)	1975. 3. 7
81		手 塚 光 郎	(株)三井銀行千住支店	1969. 6. 5
82		中村 英一郎	鳥市	1980. 1. 10
83		浜 野 清 吉	(株)浜野商店	1972. 5. 4
84		宮 坂 清 吾	(有)日新製作所	1976. 2. 23
85	2.16	安 斎 謹 一	(株)大和アルミニウム	1994. 8. 31
86		生 田 俊 夫	(有)刈込製作所	1975. 8. 8
87	3. 2	服 部 義 雄	(株)松尾製作所	
88	3.23	大 原 倉 蔵	大原産和	1968. 2. 15
89	3. 3	相 台 宗次郎	日新工業(株)	1967.10.19
90		山 下 直 衛	日新工業(株)	1971. 6. 17
91	1968. 1. 4	亘 正 夫	東和化成工業(株)	1998. 7. 31
92	3.21	茂 沢 清 太郎	茂澤薬局	1983. 7. 7



番号	入会年月日	氏 名	勤 務 先	退会年月日
93		田 沢 叔 夫	田沢医院	1981. 3.30
94	8.15	長 島 泰 明	都立足立工業高等学校	1970. 3.26
95	10.17	磯 貝 俊 一	東京丸生青果(株)	
96	10.24	内 藤 彌 吉	ヤコイ支店	1955.12.31
97		中 川 恕	(株)富士銀行足立支店	1970. 3. 5
98		成 田 昭	千住青果(株)	1971. 4.15
99	1969. 1. 9	浜 野 敏	浜野オイルシール工業(株)	1973. 9.27
100	4. 3	平 久 保 聖	日本生命保険相互会社千住支社	1971. 2. 4
101		一 瀬 儀 助	千住北魚(株)	1979. 6.28
102	5.12	田 島 栄 一	田島応用化工(株)	1991.11.14
103	7. 3	酒 井 金 一 郎	(株)三井銀行千住支店	1971. 1. 7
104	8.14	大 藤 忠 男	ハッピー商会	1984.12.26
105	10. 3	鈴 木 銀 蔵	(株)鈴木商事	1976.11.25
106	12. 4	武 田 幸 治	日本勧業銀行西新井支店	1971. 4.15
107	12.11	大 盛 広 吉	大盛経理事務(株)	1996. 3.25
108	1970. 1. 8	永 坂 興 之 助	(株)三菱銀行千住支店	1971. 5. 6
109	5.14	平 井 晃	足立市場販売	1975.12. 5
110	7. 8	三 沢 高 明	(株)富士銀行足立支店	1973. 4.19
111	10. 8	仲 田 真	正栄ダイカスト工業	1977. 4. 7
112	10.15	加 賀 道 太 郎	加賀一産興(株)	1975.12. 5
113		矢 島 嘉 昌	ヤジマ石油(株)	1997.11. 6
114		山 本 武 幸	足立信用金庫	1972. 6.15
115	10.29	吉 原 貞 敏	東京鉄鋼(株)	1985.12. 5
116	12.17	藤 倉 昇	藤倉メッキ(株)	2005. 2. 6
117	1971. 1.28	橋 崎 茂	(株)丸金商店	1975. 9. 4
118	2. 4	高 橋 重 博	興洋化学(株)	1978. 5.31
119	3.11	沢 田 貫 太 郎	(株)三井銀行千住支店	1973. 5.17
120	3.18	出 井 沖	日本生命保険相互会社千住支社	1972. 6. 1
121	6.17	市 川 吉 三 郎	(有)市川商店	2009.12. 3
122	8.26	依 田 定 茂	東京千住青果(株)	1975.12. 5
123	9. 9	江 口 佐 平 治	ヒロヤ	1994. 7. 7
124	9.16	田 原 豊 治	墨田建築工業(株)	1974.12.30
125	1972. 2. 3	佐 藤 保 壽	(株)東京自動機械製作所	
126		清 水 国 夫	(株)新亜産業	1973. 6. 7
127	5. 4	渡 辺 貞 夫	(株)渡喜建設	2006. 6.30
128	5.11	蛭 名 喜 代 人	(株)蛭名製作所	
129	再入会 7. 6	森 尾 俊 樹	森尾電機(株)	1981. 6. 2
130	8. 1	上 田 尚 武	(株)富士銀行足立支店	1975. 6.26
131		江 川 博 次	朝日ベニマス業(株)	1975. 3. 6
132		太 田 拓 夫	(株)三井銀行千住支店	1976.11.27
133		鴨 下 多 吉	栗島幼稚園	1976. 9. 9
134		斉 藤 春 男	須川工業(株)	1980. 5. 1
135		酒 井 省 三	ファンシー製靴(株)	1998. 6.30
136		坂 田 義 寿	坂田工業(株)	1980. 3. 6
137		本 多 昇	本多医院	1980. 7. 5
138		前 原 誠 次 郎	前原歯科医院	1993. 6.17
139	1973. 8.23	前 田 有 昭	山一證券(株)千住支店	1976. 2. 6
140	9. 6	隅 屋 忠 男	(株)ロンド	2001. 4. 5

番号	入会年月日	氏 名	勤 務 先	退会年月日
141	1974. 7.18	相 台 荘 太 郎	(株)丸宗	1976.11.25
142		島 崎 雄 司	(株)江北機械製作所	2003.12.31
143	7.25	椎 名 亮	(株)三菱銀行千住支店	1974.12. 5
144	11.14	岡 村 貴 行	(株)岡村	
145	1975. 3. 6	上 田 喜 信	(株)丸喜建設	1976.11.25
146		幡 野 清	幡野建設事務所	1994. 8.14
147	5. 1	江 口 次 雄	東京施設工業(株)	2000. 6.30
148	5.22	石 渡 守 治	東電工(株)	2002.11.31
149		今 井 保	足立木材工業(株)	
150	5.29	庄 司 定 男	(株)辰巳	1980. 7. 1
151		吉 川 栄 治	(株)中央	1978. 1. 5
152	7.24	入 江 正 之	(株)富士銀行足立支店	1977. 1.20
153	8.13	岡 田 尋 史	岡田興業(株)	
154		井 上 信 彌	井上病院	
155	8. 2	田 中 宏	日本セロパック(株)	1979. 7.12
156	9.18	窪 谷 政 二 郎	窪谷木材(株)	2006. 6.30
157	11.13	伊 集 院 實	伊集院実法律事務所	2003. 7. 4
158	11. 2	折 原 忠 義	足立ゴム(株)	1979.12. 6
159	1976. 1. 8	木 本 多 計	木本製菓(株)	1982. 3.24
160		細 町 達 郎	ワールドステップシューズ(株)	1979. 6. 7
161	1.29	佐 藤 鉄 治	(株)三井銀行千住支店	1978. 7.13
162	3.18	石 和 田 政 司	大誠興業(株)	1981. 3.12
163	4. 1	橋 本 晋	橋本ゴム工業(株)	1995. 7.24
164	5. 6	伊 集 院 利 彦	山一證券(株)千住支店	1978. 8. 3
165		木 村 久 衛	木村建設測量(株)	1987. 6.30
166	7. 1	垣 内 忠 司	東京電力(株)千住支社	1979. 6.21
167	9.16	田 口 栄 一	(有)喜田家本舗	1992. 6.30
168	11.14	木 内 輝 雄	木内医院	1996.12.31
169	12.16	鈴 木 健 児	(株)上州屋釣具店	1997. 4. 3
170		須 長 実 利	ミシガンシュー(株)	1983. 9. 1
171	1977. 1. 6	中 西 周 男	中西医院	1984. 5. 2
172	2. 1	清 水 清 忠	清水医院	1986. 7.24
173		林 繁	(有)林電器工業	1977. 8.11
174		藤 沢 三 郎	(株)フジサワ	1981. 3. 2
175	3. 1	岡 本 一 甫	(株)富士銀行足立支店	1978.11.16
176	3.17	渡 辺 昭	渡辺医院	1978. 5.31
177	4. 7	吉 田 清 高	(有)清高運送	2002.11.26
178	7. 2	伊 奈 武 三 郎	曙金網産業(株)	
179	8.25	大 門 茂	レストラン飯田家	2000. 6.30
180		高 橋 祐 太 郎	金澤建設(株)	1979.11. 2
181	9.22	岡 村 重 次	のぞみ幼稚園	1990.11.22
182	1978. 4.20	増 子 昭 男	福島建設(株)	1996.12. 5
183	5.18	山 崎 三 郎	(有)三浦屋	2002. 6. 3
184	10.19	難 波 貞 夫	山一證券(株)千住支店	1980. 8. 7
185	11.16	池 沢 基 之	(株)三井銀行千住支店	1980.11.20
186		矢 内 宗 之	(株)富士銀行足立支店	1981. 5.28
187	1979. 1.11	石 塚 春 夫	(株)東京エンゼル本社	1984. 7. 5
188		宝 田 昭 吾	(株)太陽神戸銀行千住支店	1981. 6.25



番号	入会年月日	氏 名	勤 務 先	退会年月日
189		牧 初 太 郎	(株)ときわ	1980. 5.27
190	8. 6	雲 野 忠 作	雲野商事(株)	2003. 6.30
191	11.15	竹 内 清 一	竹内工業(株)	1982. 6.17
192		山 田 浩 史	山田(株)	
193	1980. 2.21	鈴木 徳太郎	鈴木土地(有)	1998.12.31
194		吉 原 義 仁	(株)共栄興業	1984. 2. 2
195	7. 1	佐 藤 徹	(株)ブルータス	
196		中 根 平	(株)ナカネ	1994.12.31
197	8.28	鈴 木 敏 男	七陽商事(株)	
198	9.25	松 原 哲 也	山一証券(株)千住支店	1984. 3. 1
199	10. 2	三浦 昭太郎	(株)三浦工務店	
200	1981. 1. 8	横 山 昭 平	横山水産(株)	1984. 1. 5
201	1.29	梅 田 弘	梅田整形外科	2004.10.31
202	4. 2	鈴 木 寿 郎	(株)鈴木商店	
203	4. 9	水 野 了 雅	勝専寺	1994.12.31
204	4. 3	西 村 高	(株)パイオニア	1984. 7. 5
205	7. 2	稲 積 隆	(株)富士銀行足立支店	1983. 8.25
206		妹尾 英之輔	マルエス紙管(株)	1991. 6.30
207		宮 川 静 雄	(株)太陽神戸銀行千住支店	1983.10.20
208		矢 作 一 雄	大松商店	1983. 4. 7
209	9. 3	岡 安 啓 至	足立印刷(株)	2001. 6.30
210	10. 1	望 月 正 直	東京電力(株)千住支社	1985. 6.27
211		山 本 嘉 雄	税理士山本嘉雄事務所	
212	11.19	浜島 万之助	(株)三順商店	1998. 5. 7
213	1982. 7. 1	田 中 清 介	丸市田中建設(株)	
214	再入会	仲 田 真	正栄技研(株)	1996. 6.30
215	9. 2	小 葉 将 夫	(株)丸正製作所	
216	10. 7	荻 原 智 紀	荻原歯科医院	1998.10.31
217		鈴 木 康 之	千住の松屋	1993. 7. 1
218	1983. 9. 1	鈴 木 保 寿	鈴木医院	1984. 4.19
219		岡 村 温 二	(株)岡村	1998.11.30
220		小田島 鉄次	(株)富士銀行足立支店	1986.11.13
221		竹 内 栄 一	隅田川運送(株)	1996.12. 5
222		山 佐 福 栄	山信印刷(株)	2010. 5. 8
223	12. 1	戸 次 弘	(株)光陽社	1993. 7. 1
224	12. 8	石 和 田 清	協立歯科	1987. 4.15
225	1984. 4. 5	松 沢 久 一	NTT 足立電話局	1985. 1.31
226	4.19	飯 塚 悟 朗	プラント機器(株)	2010. 6.30
227		江 藤 正 利	山一証券(株)千住支店	1985. 7.18
228		鈴 木 博	(有)岩井センター	
229	5. 1	石 坂 隆 禮	(株)三方商工	1986. 9.11
230		小 森 照 雄	(株)コマツ企画	1985.11.27
231		吉 井 恒 雄	順天堂大学	1995. 9.15
232	5.24	金 田 寛	(株)共愛	1984. 9.13
233	8.23	荒 木 幸 雄	大師堂金属印刷(有)	2006. 6.30
234	10. 4	定 谷 久 光	定谷紙業(株)	2001. 8. 2
235	11.22	服 部 正 信	足立タクシー(株)	1993. 5.27
236	1985. 1.24	富 田 武 忠	足立高等学校	1985. 7. 4

番号	入会年月日	氏 名	勤 務 先	退会年月日
237		榎 本 司 郎	NTT 足立電話局	1986. 1.23
238	2.28	長谷川 貞彦	(株)東京キンダー	2006. 6.30
239	4.18	小 池 義 治	宝化成(株)	
240	10. 3	内 山 進	(株)長岡エンジニアニング	1993. 5.13
241		横 井 義 春	(株)横井店装	1987. 1.27
242	10.17	亀 永 正 道	東京電力(株)千住支社	1987. 6.30
243	1986. 2.27	杉 本 光 朗	NTT 足立電話局	1988. 1.28
244	11. 2	島 田 豊	(株)富士銀行足立支店	1988.11.17
245		中 村 信 夫	東京食肉販売(株)	1991.12. 5
246	1987. 8.20	田 村 尊 信	東京電力(株)千住支社	1991. 7. 4
247	9. 1	笹 森 進	東京さくら観光(株)	1994. 3.24
248	1988. 3. 3	高 橋 宏 行	NTT 足立電話局	1991. 1.31
249	4. 7	浅 井 明	東京市場文具印刷(株)	1993. 7. 1
250	7. 7	黒 田 收	クロコ(株)	2007. 6.30
251		水 村 千 足	郊土開発(株)	2006. 2.28
252		鈴 木 晴 雄	(株)三晃建築設計事務所	1993. 7. 1
253		高 遠 和 則	千代田ゴム(株)	1999. 5.31
254		山 下 淳 市	(株)山下ゴム	2002. 9.13
255		矢 島 寛	(有)ヤジマ	
256	7.28	篠 田 照 雄	(株)篠田石材店	
257		高 山 宏	北千住ターミナルビル(株)	1997. 6.30
258	10. 6	橋 幹 雄	(株)タチバナモーター	2002. 6.30
259	12. 1	橋 本 敏 雄	(株)富士銀行足立支店	1992. 6. 4
260	1989. 1.12	石 鍋 元 章	(株)コンクラ企画設計	
261	3. 9	吉 田 幸 雄	(株)和幸	2002. 6.30
262	6. 1	林 裕 三	日本体育施設運営(株)	1991. 6.30
263	7. 2	鈴 木 喬	(株)鈴木商事	
264	1990. 6.21	荻 原 芳 樹	デンタルクリニック荻原	
265	1991. 3.14	黒 田 満 雄	NTT 足立電話局	1993. 3.25
266	7.18	説 田 義 暉	東京電力(株)足立支社	1994. 7. 7
267	1992. 3.26	庄 司 正 英	ピーアーク(株)	1999. 6.30
268	7. 2	井 上 映 治	足立信用金庫	
269		絹 村 昂	(株)富士銀行足立支店	1994. 9. 1
270	7. 9	吉 田 正 行	ビックリヤグループ	
271	1993. 1. 7	福 本 勝 由	大作輸送(株)	
272	5. 6	濱 中 厚 生	宗教法人大鷲神社	
273	6. 3	長 谷 部 厚	日本電信電話(株)足立支店	1994. 1. 6
274	7. 1	海老沼 孝二	芝園開発(株)	
275	11.18	柴 定 男	シバ製靴(株)	2001.10. 4
276	1994. 2.17	古 俣 義 男	日本電信電話(株)足立支店	1996. 3. 7
277	7. 7	太 田 輝 男	三和交通(株)	1999.10. 7
278	再入会	高橋 祐太郎	金澤建設(株)	
279		内 田 寛	(株)平城苑	2001.12.31
280	7.21	松 村 勝	東京電力(株)足立支社	1997. 6.26
281	9. 1	古 野 間 譲	(有)古野間染工場	1999. 6.30
282	9.22	中西 喜久夫	(株)富士銀行足立支店	1996.11.21
283		沢 田 尚 久	公認会計士沢田尚久事務所税理士	2000. 6.30
284		福 岡 實	(株)東京ブラザーシューズ	1997. 6. 5



物故会員一覧

(在籍時に逝去／入会日順)

番号	入会年月日	氏 名	勤 務 先	退会年月日
285	1996. 4. 4	斉 藤 信 房	(株)ナンシン	2004. 6.30
286	6. 2	樽 澤 忠 正	(株)正和自動車教習所	
287	12.12	奈 良 部 毅	(株)富士銀行足立支店	1999. 2.26
288	1997. 8.21	細 川 幸 重	(株)ルミネ北千住店	2004. 5.27
289		松 阪 晴 伸	東京電力(株)足立支社	2000.10.26
290		妹尾 喜一郎	マルエス紙管(株)	2004. 6.30
291		都 築 義 範	大東通運(株)	1999.11.30
292	12. 4	坂 田 修 一	坂田工業(株)	
293	1998. 7. 9	大 饗 勝 夫	森川建設(株)	2002. 6.30
294	7.23	伊 藤 隆	隆商事(有)	
295	7. 3	市 毛 英 明	市毛英明司法書士事務所	2004. 6.30
296	1999. 1.14	小 出 康 夫	小出康夫法律事務所	
297	3.18	鎌 形 敬 史	(株)富士銀行足立支店	2000.12.21
298	7. 8	庄 司 孝 輝	ピーアーク(株)	
299		大 島 康 裕	(有)足立企画	
300		岩 城 武	(株)イワキ	
301		中 西 英 治	(株)国土鑑定研究所	
302	2000. 3.30	原 田 寛	原田国際特許商標事務所	
303	7.13	北 爪 考 二	(株)わかばケアセンター	2006.12.31
304	10. 5	戸 塚 誠 一 郎	東京管工機材(株)	
305	10.12	吉 野 時 義	クラウンファンシーグッズ(株)	2003. 6.30
306	12. 7	唐 崎 隆 史	東京電力(株)足立支社	2002. 6.30
307	2001. 1.25	神 山 博 文	(株)富士銀行足立支店	2002.10.10
308	7. 5	守 屋 裕 之	ソニー生命保険(株)日本橋第4PG支社	
309	10. 4	池 田 勇	(株)小野包装	2006. 6.30
310	2002. 5.23	磯 部 菊 夫	(株)岡村	2003. 6.30
311	11.21	赤 澤 由 英	(株)みずほ銀行足立支店	2004. 7.22
312	2004. 6.17	上 村 宗 弘	(株)ルミネ	2006. 6.30
313	8.19	青 山 仁	(株)みずほ銀行足立支店	2006.11.16
314	10. 7	中 川 泰 徳	野村證券(株)千住支店	2005. 3.10
315	2005. 4. 7	船 木 佳 昭	(株)船木塗装	
316		竜 沢 俊 彦	野村證券(株)千住支店	2006.11.30
317	7.14	小 林 光 夫	(有)ディーシーエス	
318		羅 山 能 弘	(株)ラヤマパック	
319	2006. 7.13	芝 久 雄	(株)芝電機工業所	
320	10. 5	谷 中 義 雄	(株)レイカ	
321	11. 2	飯 倉 昭 二	飯倉税理士事務所	
322	12. 7	橋 本 圭 司	(株)みずほ銀行足立支店	2008.10. 9
323	12.14	小 幡 敦	野村證券(株)千住支店	2008. 3. 6
324	2007. 7.12	米 重 哲 彦	清水染工(株)	2008. 6.26
325	2008. 7.10	阿部 千代太郎	(株)ダイシンホーム	
326		大 川 英 男	野村證券(株)千住支店	
327		高 杉 浩 明	足立成和信用金庫	
328	9.11	テボー・ヴァンサン	カリヨン証券会社東京支店	
329	11. 6	菱 川 貴 司	(株)みずほ銀行足立支店	2009. 5.18
330	2009. 7.21	ベルマン・ピーター	不動産賃貸業	

長 勇 三 郎	大 盛 広 吉
池 田 和 夫	矢 島 嘉 昌
神 山 真	藤 倉 昇
森 尾 俊 樹	伊 集 院 實
島 村 弁 吉	木 本 多 計
滝 沢 竹 松	橋 本 普
黒 田 市 治 郎	中 西 周 男
浜 野 帰 一	藤 沢 三 郎
松 井 孝 一 郎	吉 田 清 高
水 谷 正 一	山 崎 三 郎
濱 野 堅 照	牧 初 太 郎
姫 川 親 一	竹 内 清 一
井 上 信 蔵	岡 村 温 二
安 井 雄 四 郎	石 和 田 清
浦 壁 啓 吉	小 森 照 雄
田 村 一 良	吉 井 恒 雄
宮 坂 清 吾	服 部 正 信
亘 正 夫	山 佐 福 栄
大 藤 忠 男	山 下 淳 市



東京江北ロータリークラブ・ 在籍会員の推移 (年度別)

2010 年 6 月末現在

東京江北ロータリークラブ会員数	53 名
東京江北ロータリークラブ延べ入会者数	330 名
東京江北ロータリークラブ退会者数	277 名
東京江北ロータリークラブ在籍中の物故会員数	38 名

昭和 35 年

1960. 3. 17	創立会員	21 名
-------------	------	------

年 度	入会会員数	退会会員数	期首会員数	期末会員数
昭和 35 ～ 36 年				
1960 ～ 61 年	7	4	21	24
61 ～ 62	20	2	24	42
62 ～ 63	6	1	42	47
63 ～ 64	7	4	47	50
64 ～ 65	6	8	52	50
昭和 40 ～ 41 年				
65 ～ 66	6	5	49	50
66 ～ 67	15	4	49	60
67 ～ 68	3	5	60	58
68 ～ 69	9	6	57	60
69 ～ 70	7	5	60	62
70 ～ 71	12	9	62	65
71 ～ 72	7	7	65	65
72 ～ 73	10	7	65	68
73 ～ 74	2	8	68	62
74 ～ 75	11	11	62	62
昭和 50 ～ 51 年				
75 ～ 76	14	4	62	72
76 ～ 77	12	6	72	78
77 ～ 78	6	6	78	78
78 ～ 79	5	8	78	75
79 ～ 80	6	11	75	70
80 ～ 81	10	10	70	70
81 ～ 82	8	3	70	75
82 ～ 83	6	2	75	79
83 ～ 84	14	9	79	84
84 ～ 85	7	6	84	85
昭和 60 ～ 61 年				
85 ～ 86	4	5	85	84
86 ～ 87	2	7	84	79
87 ～ 88	4	1	79	82
88 ～ 89	13	2	82	93

年 度	入会会員数	退会会員数	期首会員数	期末会員数
平成元年～2 年				
89 ～ 90	2	0	93	95
90 ～ 91	1	4	95	92
91 ～ 92	2	5	92	89
92 ～ 93	6	4	89	91
93 ～ 94	3	7	91	87
94 ～ 95	6	7	87	86
95 ～ 96	4	7	86	83
96 ～ 97	1	8	83	76
97 ～ 98	5	3	76	78
平成 10 ～ 11 年				
98 ～ 99	5	8	78	75
99 ～ 2000	5	5	75	75
2000 ～ 01	5	4	75	76
01 ～ 02	3	8	76	71
02 ～ 03	1	7	71	65
03 ～ 04	1	6	65	60
04 ～ 05	4	5	60	59
05 ～ 06	2	8	59	53
06 ～ 07	5	4	53	54
07 ～ 08	1	3	54	52
平成 20 ～ 21 年				
08 ～ 09	5	2	52	55
09 ～ 10	1	1	55	53



年度別収支の記録／会員数

単位：円

会計年度	収入	支出	繰越	会員数（期末）
1960/3 ～ 60/6	1,490,770	1,330,088	160,682	24
1960/7 ～ 61/6	1,843,483	1,829,623	13,860	42
1961/7 ～ 62/6	2,814,474	2,520,885	293,589	47
1962/7 ～ 63/6	3,451,988	3,437,834	14,154	50
1963/7 ～ 64/6	4,691,990	3,800,077	891,913	50
1964/7 ～ 65/6	6,610,633	5,443,831	1,166,802	60
1965/7 ～ 66/6	8,291,136	7,092,589	1,198,547	58
1966/7 ～ 67/6	9,121,742	8,525,884	595,858	60
1967/7 ～ 68/6	8,192,878	8,175,464	17,414	58
1968/7 ～ 69/6	9,513,593	8,261,840	1,251,753	60
1969/7 ～ 70/6	10,572,369	10,515,986	56,383	62
1970/7 ～ 71/6	10,279,980	10,183,637	96,343	65
1971/7 ～ 72/6	11,478,324	10,908,324	570,000	65
1972/7 ～ 73/6	12,585,652	12,503,196	82,456	68
1973/7 ～ 74/6	14,941,895	14,071,393	870,502	62
1974/7 ～ 75/6	22,792,765	20,433,388	2,359,377	62
1975/7 ～ 76/6	21,853,978	21,343,409	510,569	72
1976/7 ～ 77/6	23,485,458	22,649,854	835,604	78
1977/7 ～ 78/6	23,095,416	21,732,942	1,362,474	78
1978/7 ～ 79/6	23,075,694	20,184,030	2,891,664	75
1979/7 ～ 80/6	24,063,486	21,602,476	2,461,010	70
1980/7 ～ 81/6	23,809,879	22,798,686	1,011,193	70
1981/7 ～ 82/6	22,429,615	22,217,292	212,323	75
1982/7 ～ 83/6	26,128,917	24,888,190	1,240,727	79
1983/7 ～ 84/6	28,388,563	25,891,437	2,497,126	84
1984/7 ～ 85/6	29,678,949	28,271,234	1,407,715	85
1985/7 ～ 86/6	28,925,762	27,557,036	1,368,726	84
1986/7 ～ 87/6	27,194,610	26,606,048	588,562	79
1987/7 ～ 88/6	26,721,353	25,497,661	1,223,692	82
1988/7 ～ 89/6	32,198,783	28,617,266	3,581,517	93
1989/7 ～ 90/6	33,764,834	28,338,199	5,426,635	95
1990/7 ～ 91/6	35,844,737	29,150,667	6,694,070	92
1991/7 ～ 92/6	35,979,896	28,878,055	7,101,841	89
1992/7 ～ 93/6	36,750,445	30,574,181	6,176,264	91
1993/7 ～ 94/6	34,378,972	29,526,365	4,852,607	87
1994/7 ～ 95/6	32,744,859	30,315,118	2,429,741	86
1995/7 ～ 96/6	30,456,937	28,626,405	1,830,532	83
1996/7 ～ 97/6	27,257,471	26,404,947	852,524	76
1997/7 ～ 98/6	29,496,546	26,726,643	2,769,903	78
1998/7 ～ 99/6	31,140,964	28,357,043	2,783,921	75
1999/7 ～ 00/6	31,041,727	27,632,064	3,409,663	75
2000/7 ～ 01/6	30,787,801	24,998,279	5,789,522	76
2001/7 ～ 02/6	32,342,186	26,305,432	6,036,754	71
2002/7 ～ 03/6	30,139,778	25,361,581	4,778,197	65
2003/7 ～ 04/6	26,717,773	25,726,584	991,189	60
2004/7 ～ 05/6	22,928,724	21,437,702	1,491,022	59
2005/7 ～ 06/6	23,761,750	21,288,713	2,473,037	53
2006/7 ～ 07/6	22,513,075	18,582,421	3,960,654	54
2007/7 ～ 08/6	23,988,612	19,275,384	4,713,228	52
2008/7 ～ 09/6	25,541,366	20,139,027	5,402,339	56
2009/7 ～ 10/6				53



経理の歩み 性質別収入の推移

単位：円

会計年度	ビジター収入 (A)	A 以外の収入 (B)	会員数	B の 1 人当りの収入
1960.3 ~ 6	700	1,490,070	21	70,955
1960 ~ 1961	450,200	1,393,283	23	60,577
1961 ~ 1962	756,000	2,058,474	30	68,615
1962 ~ 1963	891,500	2,560,488	42	60,964
1963 ~ 1964	1,109,500	3,582,490	48	74,635
1964 ~ 1965	1,084,500	5,526,133	53	104,266
1965 ~ 1966	1,424,900	6,866,236	55	124,840
1966 ~ 1967	1,138,200	7,983,542	58	137,647
1967 ~ 1968	1,093,600	7,099,278	60	118,321
1968 ~ 1969	1,196,200	8,317,393	61	136,350
1969 ~ 1970	1,174,000	9,398,369	62	151,587
1970 ~ 1971	1,024,400	9,255,580	74	125,075
1971 ~ 1972	1,209,600	10,268,724	72	142,621
1972 ~ 1973	1,290,000	11,295,652	74	152,643
1973 ~ 1974	1,553,800	13,388,095	69	194,030
1974 ~ 1975	1,802,900	21,989,865	62	354,675
1975 ~ 1976	1,640,100	19,213,878	72	266,859
1976 ~ 1977	1,884,000	21,601,458	78	276,941
1977 ~ 1978	1,435,200	23,716,616	78	304,059
1978 ~ 1979	1,647,000	23,383,394	75	311,778
1979 ~ 1980	1,736,100	25,335,886	70	361,941
1980 ~ 1981	1,761,000	24,692,226	70	352,746
1981 ~ 1982	1,530,000	23,656,065	75	315,414
1982 ~ 1983	1,660,200	26,334,817	79	333,352
1983 ~ 1984	1,486,300	29,615,248	84	352,562
1984 ~ 1985	1,544,400	25,637,423	85	301,616
1985 ~ 1986	1,790,000	27,947,647	84	332,710
1986 ~ 1987	1,615,400	27,376,284	79	346,535
1987 ~ 1988	1,543,000	27,556,891	82	336,059
1988 ~ 1989	1,714,500	32,490,851	93	349,363
1989 ~ 1990	1,502,200	36,040,934	95	379,378
1990 ~ 1991	1,480,300	38,326,237	92	416,590
1991 ~ 1992	1,365,000	37,887,696	89	425,700
1992 ~ 1993	1,441,800	38,809,945	91	426,480
1993 ~ 1994	1,460,700	36,148,772	87	415,500
1994 ~ 1995	1,105,700	34,802,759	86	404,680
1995 ~ 1996	1,248,500	32,672,137	83	393,640
1996 ~ 1997	1,155,200	29,215,271	76	384,410
1997 ~ 1998	1,158,700	31,282,546	78	401,050
1998 ~ 1999	903,500	35,204,264	75	469,390
1999 ~ 2000	898,500	33,404,227	75	445,390
2000 ~ 2001	517,500	33,370,301	76	439,080
2001 ~ 2002	330,000	35,418,286	71	498,850
2002 ~ 2003	472,000	32,560,778	65	500,940
2003 ~ 2004	349,500	28,777,273	60	479,620
2004 ~ 2005	305,000	25,117,574	59	425,720
2005 ~ 2006	361,000	26,082,010	53	492,110
2006 ~ 2007	356,000	24,624,875	54	456,020
2007 ~ 2008	255,000	26,011,612	52	500,220
2008 ~ 2009	290,500	27,706,832	55	503,760



年度別 クラブ会員出席表

(1960.6 ~ 2010.6)

年度	月別	クラブ平均出席率	会員数
1960 年	6 月	79. 36	21
	7	80. 95	21
	8	80. 30	20
	9	70. 00	20
	10	84. 05	21
61 年	11	93. 57	21
	12	85. 23	23
	1	92. 04	22
	2	92. 05	22
	3	87. 27	22
61 年	4	84. 73	23
	5	84. 48	24
	6	87. 50	24
	7	83. 46	25
	8	87. 20	25
62 年	9	87. 00	25
	10	89. 91	29
	11	96. 49	29
	12	94. 22	32
	1	92. 19	32
62 年	2	92. 16	32
	3	96. 46	35
	4	97. 86	38
	5	94. 74	38
	6	94. 74	38
62 年	7	99. 41	42
	8	98. 57	42
	9	96. 43	42
	10	98. 22	42
	11	96. 66	42
63 年	12	100. 00	42
	1	98. 81	42
	2	98. 81	42
	3	96. 83	42
	4	96. 43	42
63 年	5	90. 45	47
	6	90. 96	47
	7	91. 49	47
	8	91. 06	47
	9	91. 49	47
64 年	10	95. 22	47
	11	98. 87	45
	12	96. 67	46
	1	96. 67	46
	2	99. 45	47
64 年	3	96. 81	48

年度	月別	クラブ平均出席率	会員数
65 年	4	88. 86	50
	5	97. 45	50
	6	94. 05	50
	7	96. 50	53
	8	98. 03	51
66 年	9	98. 53	51
	10	96. 47	51
	11	96. 08	51
	12	90. 83	49
	1	95. 33	49
66 年	2	95. 41	49
	3	97. 71	49
	4	98. 47	50
	5	95. 92	50
	6	96. 43	50
66 年	7	96. 61	49
	8	96. 02	51
	9	98. 00	51
	10	97. 00	51
	11	96. 99	51
67 年	12	95. 08	49
	1	98. 43	49
	2	100. 00	50
	3	97. 20	51
	4	94. 96	50
67 年	5	92. 37	49
	6	95. 51	50
	7	97. 39	49
	8	97. 38	49
	9	98. 93	49
68 年	10	95. 59	48
	11	94. 97	48
	12	96. 08	48
	1	99. 37	54
	2	99. 51	56
68 年	3	98. 92	60
	4	98. 69	60
	5	96. 49	60
	6	98. 59	60
	7	98. 71	60
68 年	8	96. 25	60
	9	96. 21	60
	10	94. 92	59
	11	95. 28	59
	12	95. 29	59
69 年	1	97. 02	60
	2	95. 89	59
	3	95. 79	61
	4	95. 34	60

年度	月別	クラブ平均出席率	会員数
69 年	5	99. 66	58
	6	98. 67	58
	7	100. 00	58
	8	98. 58	58
	9	98. 24	58
70 年	10	99. 58	60
	11	99. 12	61
	12	99. 16	61
	1	95. 91	62
	2	94. 97	60
70 年	3	97. 88	59
	4	97. 50	61
	5	97. 68	61
	6	98. 33	60
	7	97. 97	60
70 年	8	99. 14	61
	9	98. 33	61
	10	98. 33	61
	11	97. 44	61
	12	97. 51	60
71 年	1	97. 81	61
	2	96. 28	61
	3	96. 45	59
	4	99. 66	59
	5	98. 33	60
71 年	6	100. 00	60
	7	96. 67	62
	8	98. 76	63
	9	99. 14	63
	10	99. 62	67
72 年	11	97. 90	67
	12	96. 55	67
	1	98. 83	67
	2	98. 44	67
	3	99. 25	69
72 年	4	96. 68	70
	5	98. 70	65
	6	96. 09	65
	7	96. 40	65
	8	97. 62	66
73 年	9	94. 15	68
	10	92. 24	68
	11	93. 74	68
	12	94. 67	68
	1	94. 86	68
73 年	2	96. 31	69
	3	86. 40	69
	4	94. 76	69
	5	95. 37	69
73 年	6	96. 02	64



年度	月別	クラブ平均出席率	会員数
73 年	7	96. 02	64
	8	95. 95	66
	9	93. 75	66
	10	96. 19	68
	11	94. 57	68
74 年	12	98. 10	68
	1	97. 74	67
	2	97. 36	67
	3	97. 92	68
	4	98. 89	67
74 年	5	97. 77	67
	6	97. 41	67
	7	97. 39	67
	8	95. 86	68
	9	94. 90	69
75 年	10	96. 69	68
	11	96. 47	68
	12	96. 59	66
	1	97. 02	65
	2	96. 15	65
75 年	3	97. 94	64
	4	98. 83	64
	5	96. 64	64
	6	95. 45	62
	7	99. 36	63
75 年	8	98. 10	66
	9	97. 32	66
	10	99. 09	66
	11	99. 28	67
	12	100. 00	67
76 年	1	99. 52	70
	2	99. 63	68
	3	98. 92	69
	4	98. 93	70
	5	97. 92	72
76 年	6	97. 92	72
	7	98. 12	73
	8	96. 23	73
	9	95. 89	73
	10	96. 92	73
76 年	11	98. 31	71
	12	98. 32	73
	1	98. 39	73
	2	97. 03	76
	3	98. 72	78
77 年	4	98. 40	78
	5	94. 78	78
	6	96. 67	78
	7	91. 13	77

年度	月別	クラブ平均出席率	会員数
78 年	8	95. 44	78
	9	96. 12	79
	10	93. 98	79
	11	95. 78	79
	12	92. 50	80
78 年	1	91. 77	79
	2	93. 62	78
	3	94. 36	78
	4	95. 86	79
	5	95. 29	80
78 年	6	96. 15	78
	7	94. 84	77
	8	94. 74	76
	9	95. 40	76
	10	95. 72	76
79 年	11	96. 70	76
	12	97. 38	77
	1	96. 13	78
	2	92. 31	78
	3	96. 15	78
79 年	4	94. 56	78
	5	93. 29	78
	6	94. 14	78
	7	92. 95	75
	8	95. 98	75
80 年	9	95. 67	75
	10	96. 67	75
	11	96. 69	74
	12	95. 54	73
	1	96. 52	72
80 年	2	91. 70	72
	3	95. 50	74
	4	93. 92	74
	5	97. 16	70
	6	94. 99	70
80 年	7	97. 73	70
	8	97. 50	70
	9	96. 80	71
	10	97. 22	72
	11	96. 50	71
81 年	12	98. 23	71
	1	96. 77	73
	2	95. 89	73
	3	97. 90	71
	4	98. 05	73
81 年	5	98. 28	73
	6	98. 95	70
	7	98. 10	70
	8	98. 31	74
	9	97. 00	75

年度	月別	クラブ平均出席率	会員数
82 年	10	97. 10	76
	11	97. 71	74
	12	98. 70	77
	1	98. 70	77
	2	98. 70	77
82 年	3	97. 38	76
	4	98. 65	76
	5	97. 69	76
	6	99. 01	75
	7	97. 63	75
82 年	8	98. 35	75
	9	97. 73	77
	10	98. 10	79
	11	98. 73	79
	12	97. 97	79
83 年	1	97. 15	79
	2	98. 10	79
	3	98. 22	79
	4	98. 72	78
	5	99. 14	78
83 年	6	96. 79	79
	7	99. 04	78
	8	98. 72	77
	9	98. 75	80
	10	99. 05	79
84 年	11	98. 73	79
	12	97. 77	81
	1	98. 43	80
	2	96. 83	79
	3	98. 21	78
84 年	4	98. 42	81
	5	96. 70	84
	6	97. 91	84
	7	98. 78	82
	8	98. 78	83
84 年	9	97. 87	82
	10	98. 20	83
	11	97. 36	84
	12	98. 50	83
	1	97. 90	83
85 年	2	98. 50	85
	3	98. 43	85
	4	98. 24	86
	5	97. 67	85
	6	97. 09	85
85 年	7	97. 31	83
	8	97. 50	83
	9	98. 80	83
	10	97. 37	86
	11	95. 92	85



年度	月別	クラブ平均出席率	会員数
86 年	12	96. 72	84
	1	98. 80	83
	2	97. 90	84
	3	97. 02	84
	4	97. 91	84
	5	97. 14	84
86 年	6	97. 62	84
	7	96. 90	83
	8	97. 60	83
	9	96. 11	82
	10	96. 09	82
	11	95. 78	83
87 年	12	97. 30	83
	1	96. 40	82
	2	98. 47	82
	3	97. 86	82
	4	96. 80	81
	5	98. 15	81
87 年	6	97. 84	79
	7	97. 21	79
	8	97. 16	80
	9	98. 45	81
	10	98. 73	81
	11	96. 00	81
88 年	12	98. 76	81
	1	97. 22	80
	2	96. 67	80
	3	97. 78	81
	4	96. 95	82
	5	95. 12	82
88 年	6	96. 09	82
	7	98. 31	90
	8	98. 05	90
	9	98. 05	90
	10	97. 26	91
	11	97. 42	90
89 年	12	97. 58	91
	1	95. 91	92
	2	96. 74	92
	3	96. 74	92
	4	95. 92	92
	5	96. 24	92
89 年	6	98. 27	93
	7	98. 12	94
	8	95. 31	94
	9	96. 01	94
	10	96. 54	94
	11	96. 54	94
90 年	12	98. 93	94
	1	97. 51	94

年度	月別	クラブ平均出席率	会員数
90 年	2	95. 72	94
	3	96. 40	94
	4	96. 54	94
	5	97. 34	94
	6	96. 59	95
	7	96. 33	95
91 年	8	95. 52	95
	9	94. 77	95
	10	92. 10	95
	11	94. 51	94
	12	95. 21	94
	1	94. 47	94
91 年	2	96. 83	93
	3	95. 43	94
	4	97. 44	94
	5	95. 36	94
	6	96. 55	92
	7	97. 12	92
92 年	8	95. 94	92
	9	95. 88	92
	10	96. 83	92
	11	97. 63	91
	12	96. 13	90
	1	95. 42	90
92 年	2	98. 47	90
	3	95. 10	91
	4	96. 99	91
	5	96. 39	91
	6	96. 63	89
	7	96. 54	92
93 年	8	94. 24	92
	9	94. 75	92
	10	97. 28	92
	11	95. 68	92
	12	96. 91	92
	1	94. 20	93
93 年	2	95. 88	93
	3	92. 90	92
	4	93. 42	92
	5	98. 10	91
	6	92. 18	91
	7	97. 21	88
94 年	8	96. 05	88
	9	94. 40	88
	10	94. 81	87
	11	93. 87	88
	12	95. 67	88
	1	94. 33	87
94 年	2	92. 71	88
	3	92. 61	87

年度	月別	クラブ平均出席率	会員数
94 年	4	93. 66	87
	5	92. 44	87
	6	94. 93	87
	7	96. 72	89
	8	93. 52	87
	9	95. 11	88
95 年	10	95. 45	88
	11	94. 38	88
	12	95. 13	87
	1	93. 86	86
	2	95. 40	86
	3	94. 93	86
95 年	4	94. 26	86
	5	95. 94	86
	6	95. 67	86
	7	94. 17	85
	8	94. 52	85
	9	94. 63	86
96 年	10	93. 70	86
	11	94. 35	85
	1	92. 98	85
	2	92. 75	84
	3	92. 49	82
	4	92. 47	83
96 年	5	90. 14	83
	6	91. 50	83
	7	91. 10	83
	8	91. 07	83
	9	92. 37	83
	10	91. 97	83
97 年	11	90. 59	82
	12	91. 80	80
	1	90. 22	80
	2	90. 58	80
	3	93. 14	80
	4	90. 58	79
97 年	5	89. 27	79
	6	91. 96	76
	7	94. 05	76
	8	93. 26	79
	9	91. 92	79
	10	91. 61	80
98 年	11	90. 30	79
	12	94. 02	80
	1	92. 04	80
	2	92. 81	80
	3	92. 42	80
	4	92. 34	80
98 年	5	92. 58	79
	6	93. 36	78



年度	月別	クラブ平均出席率	会員数
98 年	7	90. 67	80
	8	90. 04	80
	9	90. 67	80
	10	90. 86	79
	11	91. 80	78
	12	92. 85	77
99 年	1	90. 62	78
	2	93. 16	77
	3	93. 80	78
	4	91. 74	78
	5	92. 19	78
	6	93. 25	75
99 年	7	94. 09	79
	8	95. 09	79
	9	93. 07	79
	10	92. 97	78
	11	92. 97	77
	12	94. 18	77
2000 年	1	92. 07	77
	2	93. 65	77
	3	92. 73	78
	4	93. 36	78
	5	93. 23	78
	6	91. 11	75
00 年	7	96. 27	76
	8	94. 84	76
	9	94. 45	76
	10	93. 83	77
	11	92. 61	77
	12	94. 23	77
01 年	1	92. 77	78
	2	93. 76	78
	3	94. 06	78
	4	89. 84	77
	5	92. 86	77
	6	90. 87	76
01 年	7	92. 74	76
	8	93. 15	76
	9	91. 39	76
	10	92. 65	76
	11	90. 49	76
	12	89. 59	75
02 年	1	91. 53	75
	2	91. 18	75
	3	90. 81	75
	4	89. 04	75
	5	89. 16	76
	6	84. 21	71
02 年	7	91. 02	71

年度	月別	クラブ平均出席率	会員数
	8	90. 38	71
	9	93. 27	70
	10	88. 48	69
	11	88. 05	69
	12	92. 66	68
	03 年 1	88. 31	68
	2	90. 20	68
	3	89. 71	68
	4	88. 73	68
	5	84. 31	68
	6	84. 31	65
03 年	7	91. 56	64
	8	88. 89	64
	9	90. 56	64
	10	89. 34	64
	11	89. 03	64
	12	90. 37	63
04 年	1	91. 11	63
	2	87. 78	63
	3	91. 85	63
	4	89. 70	63
	5	88. 15	63
	6	89. 44	60
04 年	7	92. 36	59
	8	89. 62	60
	9	91. 67	60
	10	89. 88	60
	11	93. 03	59
	12	93. 02	59
05 年	1	87. 89	59
	2	89. 92	58
	3	91. 03	57
	4	90. 48	59
	5	88. 89	59
	6	90. 96	59
05 年	7	95. 03	61
	8	90. 00	61
	9	86. 22	61
	10	86. 11	61
	11	88. 89	61
	12	91. 67	61
06 年	1	89. 63	61
	2	91. 11	60
	3	90. 46	60
	4	89. 78	60
	5	87. 21	60
	6	84. 70	53
06 年	7	91. 64	54
	8	91. 45	54
	9	91. 03	54

年度	月別	クラブ平均出席率	会員数
	10	92. 50	55
	11	91. 81	54
	12	93. 27	55
	07 年 1	94. 02	55
	2	95. 73	55
	3	92. 31	55
	4	96. 06	55
	5	95. 40	55
	6	94. 74	54
07 年	7	94. 21	55
	8	92. 95	55
	9	94. 87	55
	10	94. 23	55
	11	94. 87	55
	12	94. 23	55
08 年	1	94. 23	54
	2	94. 87	54
	3	93. 93	53
	4	95. 40	53
	5	93. 42	53
	6	94. 74	52
08 年	7	95. 46	55
	8	91. 67	55
	9	94. 48	56
	10	96. 01	55
	11	96. 34	56
	12	93. 75	56
09 年	1	95. 63	56
	2	96. 67	56
	3	92. 92	56
	4	95. 51	56
	5	91. 67	56
	6	96. 14	55
09 年	7	65. 39	56
	8	97. 3	56
	9	92. 57	56
	10	93. 51	56
	11	95. 82	56
	12	96. 53	55
10 年	1	95. 95	55
	2	95. 95	55
	3	99. 10	55
	4	93. 06	55
	5	96. 30	54
	6	98. 15	53



ロータリー財団寄付額

2000年～2001年	8160ドル
2001年～2002年	1500ドル
2002年～2003年	5000ドル
2003年～2004年	2000ドル
2004年～2005年	1000ドル
2005年～2006年	1000ドル
2006年～2007年	6000ドル
2007年～2008年	1000ドル
2008年～2009年	1000ドル
2009年～2010年	7159ドル

ポールハリスフェロー・ マルチプルポールハリスフェロー一覧

(ポール・ハリス・フェローとは、自ら、または、ある人に敬意を表するため、あるいは記念するために米貨1000ドルをロータリー財団に寄付した人。)

(マルチプル・ポール・ハリス・フェローとは、すでにポール・ハリス・フェローとなった人が、更に1000ドル～5000ドルの追加寄付をしてフェローを重ねていく人。)

151名

水谷 正一	江本 護	蛭名 喜代人
田中 三郎	磯貝 芙美子	幡野 清
平沢 好男	安斎 謹一	鈴木 徳太郎
今井 保	矢島 嘉昌	伊奈 武三郎
鈴木 又右衛門	鈴木 又右衛門	江口 次雄
前原 誠次郎	市川 吉三郎	吉田 清高
吉原 貞敏	庄司 定男	三浦 昭太郎
内藤 彌吉	浜島 万之助	鈴木 敏男
加賀 允太郎	藤倉 昇	中根 平
田島 栄一	亘 正夫	大門 茂
滝沢 竹松	大藤 忠男	山崎 三郎
岡村 貴行	浜野 光子	岡田 尋史
森尾 俊樹	上田 喜信	水野 了雅
安井 雄四郎	佐藤 保壽	田中 清介
姫川 親一	矢島 万記	伊集院 實
井上 信彌	橋本 晋	鈴木 博
長 勇三郎	二葉 信幸	窪谷 政二郎
渡辺 貞夫	田口 栄一	岡村 重次
鈴木 銀蔵	石和田 政司	雲野 忠作
今井 秀樹	石渡 守治	鈴木 寿郎
濱野 堅照	鈴木 健児	中村 信夫
酒井 省三	服部 義雄	滝沢 タツ
池田 和夫	大盛 広吉	井上 侑代
須長 実利	島崎 雄司	吉井 恒夫
土屋 久雄	黒田 市治郎	田中 文子
佐藤 徹	今井 重子	篠田 照雄
太刀川 幸夫	磯貝 俊一	岡村 温二
岡村 泰	隅屋 忠男	定谷 久光

山佐 福栄	水村 千足	吉井 治
竹内 栄一	篠田 芳子	今井 史英
小池 義治	井上 映治	磯部 香也子
山田 浩史	荒木 幸雄	矢島 寛
山本 嘉雄	黒田 收	今井 一貴
服部 正信	太田 輝男	海老沼 孝二
鈴木 喬	庄司 正英	福本 勝由
長谷川 貞彦	内田 寛	吉田 正行
吉田 幸雄	柴 定男	高橋 祐太郎
市川 ひさ	古野 間譲	吉野 時義
渡辺 トク	宮内 すみ	濱中 厚生
伊奈 澤子	浜野 幸子	小葉 将夫
今井 明子	伊奈 政昭	坂田 修一
岡田 菊代	井上 登美子	伊藤 隆
渡辺 治夫	今井 由佳子	中西 英治
鈴木 多喜子	市川 和俊	小林 光夫
梅田 弘	竹内 要司	羅山 能弘
荒井 千文	磯貝 和俊	原田 寛
山下 淳市	渡辺 喜一郎	戸塚 誠一郎
品田 香文	滝沢 清二	守屋 裕之
荒井 千浪	矢島 美絵	飯倉 昭二
石鍋 元章	亘 晋一	
橘 幹雄	田中 芳郎	

ベネファクター一覧

(ベネファクターとは、金額を問わず、ロータリー財団恒久基金へ寄付する旨を遺書または資産計画に書きしるしたことを財団に通知した人。または米貨1000ドル以上を恒久基金に無条件寄付した人。)

12名

岡村 貴行	三浦 昭太郎	鈴木 敏男
磯貝 俊一	伊奈 武三郎	篠田 照雄
田中 三郎	小池 義治	鈴木 喬
服部 義雄	今井 保	
窪谷 政二郎	石鍋 元章	

ポールハリス準フェロー一覧

(ロータリー財団準フェロー(「財団の友」会員)に改称)

(最初に米貨100ドル、又はそれ以上を寄付し、それ以降毎年米貨100ドル、またはそれ以上を年次プログラム基金に寄付する意図を文書に表明した個人。)

2名

細町 達郎	藤沢 三郎
-------	-------



米山功労者特別寄付額

1999 年～ 2000 年	2,650,000 円
2000 年～ 2001 年	1,840,000 円
2001 年～ 2002 年	340,000 円
2002 年～ 2003 年	1,400,000 円
2003 年～ 2004 年	700,000 円
2004 年～ 2005 年	825,000 円
2005 年～ 2006 年	900,000 円
2006 年～ 2007 年	700,000 円
2007 年～ 2008 年	700,000 円
2008 年～ 2009 年	300,000 円
2009 年～ 2010 年	1,200,000 円

蛭名 喜代人	岡田 菊代	庄司 孝輝
服部 和子	海老沼 孝二	守屋 裕之
今井 明子	吉野 時義	芝 久雄
庄司 正英	内田 寛	田中 清介
今井 由佳子	伊藤 隆	戸塚 誠一郎
黒田 收	仲田 眞	福本 勝由
山佐 福栄	山崎 光子	飯倉 昭二
高橋 祐太郎	小林 光夫	谷中 義雄
井上 映治	長谷川 貞彦	吉田 正行
伊集院 實	羅山 能弘	
井上 侑代	坂田 修一	準功労者
濱中 厚生	原田 寛	岡安 啓至
鈴木 博	岩城 武	

米山功労者・米山功労者マルチプル・
米山功労者メジャードナー一覧

(個人の特別寄付が累計で 10 万円以上で第 1 回米山功労者となり、
累計で 20 万円以上で第 2 回米山功労者マルチプルとなり、累計
で 100 万円以上で米山功労者メジャードナーとなる。)

123 名

濱野 堅照	大盛 広吉	佐藤 徹
窪谷 政二郎	雲野 忠作	水野 了雅
森尾 俊樹	島崎 雄司	鈴木 敏男
田口 栄一	石和田 政司	鈴木 徳太郎
磯貝 俊一	市川 吉三郎	吉田 清高
内藤 彌吉	岡村 重次	吉原 貞敏
岡村 貴行	茂沢 清太郎	小葉 将夫
江口 佐平治	橋本 晋	荒木 幸雄
佐藤 保壽	庄司 定男	荻原 智紀
田島 栄一	田沢 叔夫	増子 昭男
石渡 守治	大門 茂	竹内 栄一
石塚 春夫	安斎 謹一	中村 信夫
井上 信彌	折原 忠義	小池 義治
藤倉 昇	長 勇三郎	水村 千足
今井 保	渡辺 貞夫	鈴木 喬
滝沢 竹松	今井 重子	橘 幹雄
矢島 嘉昌	伊奈 武三郎	石鍋 元章
大藤 忠男	山田 浩史	飯塚 悟朗
酒井 省三	山崎 三郎	矢島 寛
田中 三郎	水谷 正一	定谷 久光
須長 実利	木内 輝雄	戸次 弘
岡田 尋史	土屋 久雄	吉井 恒雄
服部 義雄	三浦 昭太郎	隅屋 忠男
鈴木 健児	山本 嘉雄	岡村 温二
鈴木 又右衛門	岡村 泰	鈴木 晴雄
池田 和夫	中西 周男	篠田 照雄
清水 清忠	今井 秀樹	亘 正夫
黒田 市治郎	木村 九衛	安井 雄四郎
江口 次雄	浜島 万之助	山下 淳市
前原 誠次郎	中根 平	梅田 弘

米山特別功労法人一覧

(法人からの特別寄付金累計額が 105 万円に達したとき、または
一度に 100 万円以上の特別寄付をした法人。)

(株)岡村	岡村 貴行
(株)カンサイ岡村	岡村 貴行
(株)岡村総業	岡村 貴行
東幸通商(株)	岡村 貴行
(株)上東商事	佐藤 徹
(株)三浦工務店	三浦 昭太郎
(株)和幸	吉田 幸雄
(株)鈴木商会	鈴木 寿郎
(株)花畑スイミングセンター	磯貝 俊一

米山功労法人一覧

(法人からの寄付が累計 35 万円に達した法人、以降の寄付が 35
万円毎となった法人。)

丸市田中建設(株)	田中 清介
曙金網産業(株)	伊奈 武三郎
井上病院	井上 信彌

準米山功労法人一覧

(法人として第 1 回分の特別寄付金 5 万円を納め、累計額が 35 万
円に達するまで 5 万円単位で引き続き寄付をする意思表示をした
法人。)

(株)船木塗装	船木 佳昭
七陽商事(株)	鈴木 敏男



クラブ基金寄付者リスト一覧

荒木 幸雄	窪谷 政二郎	高橋 祐太郎
長 勇三郎	黒田 市治郎	橘 幹雄
蛭名 喜代人	三浦 昭太郎	田中 三郎
海老沼 孝二	増子 昭男	田中 清介
江口 次雄	水村 千足	田口 栄一
江藤 正利	茂沢 清太郎	竹内 栄一
福本 勝由	内藤 彌吉	竹内 清一
藤倉 昇	仲田 真	滝沢 竹松
濱野 堅照	中西 周男	樽澤 忠正
濱中 厚生	中根 平	戸塚 誠一郎
服部 義雄	岡田 尋史	内田 寛
服部 正信	岡村 温二	梅田 弘
原田 寛	岡村 貴行	雲野 忠作
長谷川 貞彦	大門 茂	上村 宗弘
橋本 晋	大島 康裕	渡辺 貞夫
市川 吉三郎	大盛 広吉	山本 嘉雄
今井 保	酒井 省三	山田 浩史
池田 和夫	羅山 能弘	山崎 三郎
伊奈 武三郎	島崎 雄司	山下 淳市
井上 信彌	佐藤 保壽	山佐 福栄
井上 映治	佐藤 徹	安井 雄四郎
伊集院 實	定谷 久光	矢島 寛
磯貝 俊一	鈴木 又右衛門	矢島 嘉昌
石鍋 元章	鈴木 敏男	吉田 清高
石渡 守治	鈴木 寿郎	吉田 幸雄
小林 光夫	鈴木 喬	吉野 時義
小池 義治	鈴木 健児	山崎 光子
小薬 将夫	篠田 照雄	伊集院 克枝
小出 康夫	庄司 正英	

歴代会長・幹事一覧

年 度	会 長	幹 事
1960	鈴木 又右衛門	井 関 昌 孝
1960～61	鈴木 又右衛門	井 関 昌 孝
1961～62	鈴木 又右衛門	池 田 和 夫
1962～63	森 尾 俊 樹	黒田 市治郎
1963～64	池 田 和 夫	鈴木 一太郎
1964～65	黒田 市治郎	濱 野 堅 照
1965～66	佐々木 芳太郎	田 中 三 郎
1966～67	平 沢 好 男	村 田 三 郎
1967～68	浜 野 帰 一	二 葉 信 幸
1968～69	神 山 真	栗 林 敏 夫
1969～70	水 谷 正 一	安 斎 謹 一
1970～71	姫 川 親 一	浦 壁 啓 吉
1971～72	滝 沢 竹 松	中 村 英 一 郎
1972～73	長 勇 三 郎	磯 貝 俊 一
1973～74	田 中 三 郎	大 盛 広 吉
1974～75	安 斎 謹 一	仲 田 真
1975～76	鈴木 又右衛門	大 藤 忠 男
1976～77	二 葉 信 幸	矢 島 嘉 昌
1977～78	濱 野 堅 照	佐 藤 保 壽
1978～79	磯 貝 俊 一	市 川 吉 三 郎
1979～80	大 盛 広 吉	服 部 義 雄
1980～81	吉 原 貞 敏	茂 沢 清 太 郎
1981～82	佐 藤 保 壽	島 崎 雄 司
1982～83	酒 井 省 三	須 長 実 利
1983～84	岡 村 貴 行	佐 藤 徹
1984～85	井 上 信 彌	橋 本 晋
1985～86	矢 島 嘉 昌	吉 田 清 高
1986～87	今 井 保	岡 田 尋 史
1987～88	服 部 義 雄	窪 谷 政 二 郎
1988～89	橋 本 晋	伊 奈 武 三 郎
1989～90	島 崎 雄 司	竹 内 栄 一
1990～91	佐 藤 徹	山 佐 福 栄
1991～92	伊 集 院 實	山 本 嘉 雄
1992～93	岡 田 尋 史	矢 島 寛
1993～94	三 浦 昭 太 郎	荒 木 幸 雄
1994～95	鈴 木 敏 男	篠 田 照 雄
1995～96	窪 谷 政 二 郎	鈴 木 喬
1996～97	吉 田 清 高	田 中 清 介
1997～98	伊 奈 武 三 郎	黒 田 収
1998～99	山 本 嘉 雄	井 上 映 治
1999～00	小 池 義 治	石 鍋 元 章
2000～01	矢 島 寛	海 老 沼 孝 二
2001～02	山 佐 福 栄	高 橋 祐 太 郎
2002～03	篠 田 照 雄	福 本 勝 由
2003～04	鈴 木 喬	坂 田 修 一
2004～05	井 上 映 治	樽 澤 忠 正
2005～06	石 鍋 元 章	大 島 康 裕
2006～07	飯 塚 悟 朗	守 屋 裕 之
2007～08	田 中 清 介	原 田 寛
2008～09	福 本 勝 由	小 林 光 夫
2009～10	高 橋 祐 太 郎	戸 塚 誠 一 郎



東京江北ロータリークラブ

創立 50 周年記念事業実行委員会組織表

委 員 名	氏 名				役 割 分 担
相 談 役					
	鈴木又右衛門				
顧 問					
	田 中 三 郎	磯 貝 俊 一	佐 藤 保 壽	岡 村 貴 行	
	井 上 信 彌	今 井 保	服 部 義 雄	小 池 義 治	
	伊 奈 武 三 郎	鈴 木 寿 郎	岡 田 尋 史		
会 長					
	高橋 祐太郎				
実 行 委 員 長					
	佐 藤 徹				全体プログラムの作成
実 行 副 委 員 長					
	高橋 祐太郎	石 鍋 元 章	海老沼 孝二		
総 務 委 員 会					
委 員 長	海老沼 孝二				①各委員会の役割分担の調整と予算の設定 ②総予算の設定 ③委員長会の開催と作業の進行の確認 ④精養軒との折衝 ⑤請求書のチェックと支払 ⑥記録の作成
副委員長	戸塚 誠一郎				
委 員	鈴 木 敏 男	吉 田 正 行	小 出 康 夫		
来 賓 接 待 ・ 登 録 委 員 会					
委 員 長	鈴 木 喬				①出席者名簿の作成と出席依頼 ②招待状の作成と発送 ③出欠の確認 ④席次の作成 ⑤当日の登録と受付 ⑥接待（案内）
副委員長	坂田 修一				
委 員	山田 浩史	岩 城 武	濱 中 厚生	飯 塚 悟 朗	
	中西 英治	樽 澤 忠 正	鈴 木 博	羅 山 能 弘	
会 場 設 営 ・ 進 行 委 員 会 （ 記 念 例 会 ・ 式 典 ）					
委 員 長	庄 司 孝 輝				①会場の使用スケジュールと什器・備品の確認 ②祝宴 料理、飲み物の選定 ③飾りつけ・看板・国旗・席札 ④当日の進行担当 来賓の席への御案内 ⑤予算の確定と記録
副委員長	谷 中 義 雄				
委 員	大 島 康 裕	S A A			
アドバイザー	小 葉 将 夫	磯 貝 俊 一			
永 年 在 籍 表 彰 委 員 会					
委 員 長	篠 田 照 雄				①永年在籍者（25 年以上）リストの確認 ②表彰状・記念品（40 年以上・30 年以上・25 年以上） ③表彰状スケジュール（記念例会）
副委員長	井 上 映 治				



委員名	氏 名				役割分担
記念誌委員会（記録）					
委員長	矢島 寛				①設立チャーターメンバー関連
副委員長	原田 寛				②写真
委員	山佐 福栄	海老沼 孝二	小林 光夫	坂田 修一	③各委員会（クラブ委員会）
アドバイザー	伊奈 武三郎				④寄稿文
					⑤記念事業（植樹式）
					⑥物故会員の追悼
					⑦当日式典
ウォルナット・クリーク歓迎委員会					
委員長	伊藤 隆				①招待状の作成と送付
副委員長	芝 久雄				②滞在スケジュールの作成
委員	テボ・ヴァンサン	ベルマン・ピーター	樽澤 忠正		③先方リクエストの確認
名誉委員長	田中 三郎				④メンバーリストの作成
名誉副委員長	蛭名 喜代人				⑤スケジュール詳細決定
アドバイザー	坂田 修一	鈴木 喬			⑥予算
					⑦記録
記念事業委員会					
委員長	福本 勝由				足立区役所と折衝
副委員長	飯倉 昭二				（2010年2月18日に桜樹の植樹式を行う）
委員	阿部 千代太郎	船木 佳昭			
コンサート委員会					
委員長	佐藤 徹				
副委員長	守屋 裕之				
物故会員追悼委員会					
委員長	田中 清介				西新井大師と折衝
副委員長	三浦 昭太郎				（2010年3月4日に慰霊祭を執り行う）
委員	大島 康裕	吉田 正行	大川 英男	羅山 能弘	
記念品・土産委員会					
委員長	坂田 修一				デジタルフォトフレームを選定
副委員長	小林 光夫				
司会					
	戸塚 誠一郎	守屋 裕之			
ソングリーダー					
	荻原 芳樹				
会計委員会					
委員長	山本 嘉雄				
副委員長	田中 清介				
委員	高杉 浩明				



創立 50 周年記念事業実行委員会日誌

日 時	委員会名等	議 題	備 考
2008. 3. 6	第 9 回理事会	実行委員長選任：佐藤徹	
2008. 6. 12	歴代会長会	50 周年スケジュール	
2008.11. 6	会長ノミニー	記念例会 予算の件	
2009. 1. 22	記念誌委員会	50 周年記念誌 編集方針打合せ	
2009. 3. 12	第 1 回実行委員会	記念事業ならびに記念特別講演の審議	
2009. 3. 26	来賓接待委員会	出席者名簿の作成、招待状の作成他	
2009. 4. 9	記念事業委員会	足立区「ふるさと桜」オーナー制度協賛	
2009. 5. 7	第 11 回理事会	足立区「ふるさと桜」オーナー制度協賛 報告	テーマ「明日に向かって」
2009. 5. 14	例会	足立区「ふるさと桜」オーナー制度協賛 決定	
2009. 5. 14	記念誌委員会	50 周年記念誌編集会議	
2009. 6. 4	第 12 回理事会	佐藤実行委員長がオブザーバーとして出席し、50 周年記念行事の中間報告	3/18 → 3/25 (開催日変更提案)
2009. 7. 9	記念誌委員会	編集打合せ	13:40 ~ 14:30
2009. 7. 16	WC 歓迎委員会	山口テボー奈緒美(夏期交換学生)さんに招待状の持参依頼	
2009. 7. 23	第 2 回実行委員会	正副委員長会 全体スケジュール	13:40 ~
2009. 7. 24	WC 歓迎委員会	芝国際奉仕委員長に WC 招待状を預ける	山口テボー奈緒美さん出発
2009. 8. 6	西新井大師へ	物故会員の追悼法要打合せ	
2009. 8. 6	例会・理事会	足立区長秘書へ手紙を渡す(飯倉会員担当)	
2009. 9. 3	総務委員会	開催日の変更(25 日→18 日)	開催日決定(当初案通り)
2009. 9. 10	WC 歓迎委員会	来日スケジュール	
2009.10. 1	第 3 回実行委員会	正副委員長会 委員会組織と役割分担	10:30 ~
2009.10. 1	例会・理事会	クラブ基金拠出	
2009.10.15	来賓接待委員会	出席者名簿の作成、招待状の作成他	
2009.10.22	記念事業委員会	足立区役所と打合せ：飯倉・高橋・石鍋・福本・佐藤	招待状
2009.11.05	第 4 回実行委員会	正副委員長会	10:30 ~
2009.11.12	会長ノミニー	50 周年行事の準備・進行現況報告	
2009.11.26	会場設営委員会	精養軒と打合せ：庄司・海老沼・戸塚・佐藤・日沼(精養軒)	17:00 ~
2009.12. 3	クラブ年次総会	資料配付／説明(①全体スケジュール②予算③組織図)	
2009.12.10	ゴルフ同好会	50 周年記念ゴルフ大会打合せ	13:30 ~
2009.12.24	WC 歓迎委員会		11:00 ~
2010. 1. 13	食事試食会	上野精養軒	18:00 ~
2010. 2. 4	第 5 回実行委員会	正副委員長会	11:00 ~
2010. 2. 18	記念事業委員会	記念植樹式[足立区役所中庭]	10:00 ~
2010. 2. 25	第 1 回全体会議	プログラム決定	11:00 ~
2010. 3. 4	物故者追悼委員会	物故会員追悼法要式[西新井大師光明殿]	11:00 ~
2010. 3. 5	第 2 回全体会議	当日のタイムスケジュールの確認	10:00 ~
2010. 3. 8	来賓接待委員会	席次の最終チェック	
2010. 3. 11	第 3 回全体会議	各委員会との最終調整	11:00 ~ 12:00
2010. 3. 12	最終打合せ	会場設営委員会他実働部隊最終打合せ	12:00 ~ 14:30
2010. 3. 17	WC 歓迎委員会	歓迎会[権八 西麻布]	
2010. 3. 18	創立 50 周年記念例会	上野精養軒	
2010. 3. 19	WC 歓迎委員会	親睦鎌倉旅行	
2010. 4. 7	ゴルフ同好会	創立 50 周年記念大会[千葉カントリークラブ・野田コース]	第 3 回ゴルフコンペ



東京江北ロータリークラブ
創立 50 周年記念事業実行委員会
決算報告書

収入の部		支出の部	
① 積立金回収	3,870,000	1 準備関係	220,140
第 1 回 550,000		印刷費・通信費	
第 2 回 550,000		ネームカード作成費	
第 3 回 540,000			
第 4 回 560,000		2 記念事業	4,596,673
第 5 回 560,000		記念植樹	1,437,315
第 6 回 560,000		物故会員追悼法要	1,759,358
第 7 回 550,000		寄附金	1,400,000
		米山記念奨学会 100 万	
② クラブ基金	12,350,000	ロータリー財団 30 万	
		バギオ基金 10 万	
③ 祝宴参加費	1,610,000		
会員 @ 20,000 × 55=1,100,000		3 記念式典	5,340,793
家族 @ 15,000 × 34=510,000		コンサート (アトラクション)	147,000
		祝宴費	4,705,183
④ 祝儀	2,037,789	会場設営費	488,610
⑤ 国際奉仕委員会予算繰入	664,711	4 ウォルナット・クリーク RC 関連	1,487,409
⑥ 受取利息	3,483	5 記念品	2,512,000
		デジタルフォトフレーム	
		皿 (九谷)	
		永年在籍会員 (楯)	
		6 記念誌	3,000,000
		7 会合費	191,538
		8 その他諸雑費	179,775
		9 クラブ基金へ返金	3,007,655
総 計	20,535,983	総 計	20,535,983

